

政務活動費収支報告書

(平成29年度)

平成30年4月10日

足利市議会議長 様

末吉 利啓



足利市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、下記のとおり、平成29年度政務調査費に係る収入及び支出の報告書を提出します。

記

1 収入 政務活動費交付金 720,000 円

2 支出

(平成29年4月分から平成30年3月分まで)

科目	金額	備考
調査研究費	173,911	
研修費	235,853	
広報費	93,882	
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	59,800	
人件費	0	
事務所費	0	
合計	563,446	

3 残額 156,554 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

平成 29 年度 政務活動費内訳表

議員氏名

末吉利啓

費目	細目	細細目	備考欄	細細目計	細目計	費目計	議員氏名														
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
調査研究費	交通費	交通費(燃料代除く)		131,354	131,354	173,911		70,774		18,140							42,440				
		燃料代(実費)		0																	
		燃料費(按分)	0 按分率1/5	0																	
	宿泊費等	宿泊費		35,600	35,600			19,300		8,600									7,700		
		調査施設関連経費		0																	
	視察先手土産代			997	997			545		182								270			
	資料印刷費	印刷製本代		0	3,360																
		記録写真代		0																	
		消耗品代		3,360																	3,360
	文書送料代			0	0																
	通信費	携帯電話関係費		0	0		0														
			按分率1/9																		
		常設電話関係費		0	0																
		按分率1/9																			
ファクシミリ回線使用料		0	0	0																	
按分率1/9																					
プロバイダー料金		0	0	0																	
按分率1/9																					
調査委託費			0	0																	
その他	保険料		2,600	2,600			2,300										300				
計						0	92,919	0	26,922	0	0	0	0	0	0	0	50,710	0			
研修費	出席者負担金			69,000	69,000	235,853		15,000		25,000	3,000			26,000							
	会費			0	0																
	交通費(実費)			132,556	132,556			8,020		2,220	7,740			114,576							
	宿泊費			28,950	28,950						5,950			23,000							
	会場費等	会場費		0	0																
		機材借上費		0																	
	講師謝金			1,111	1,111									1,111							
	文書送付料			0	0																
	その他	手数料、土産代等		4,236	4,236				1,200		648	1,200			1,188						
計						0	24,220	0	27,868	17,890	0	0	165,875	0	0	0	0				

費目	細目	細細目	備考欄	細細目計	細目計	費目計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
事務所費	事務所賃料等	賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		按分率1/3					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		仲介料、礼金、 契約更新料	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	按分率1/3			0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	駐車場賃料	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	按分率1/3				0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	電気代	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	按分率1/3			0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	水道代	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	按分率1/3				0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ガス代	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	按分率1/3			0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	パソコンリース代	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	按分率1/3				0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	印刷機リース代	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	按分率1/3			0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	コピー機リース代	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	按分率1/3				0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	携帯電話関係費	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	按分率1/9			0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	常設電話関係費	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
按分率1/9			0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ファクシミリ回線使用料	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
按分率1/9				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
プロバイダー料金	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
按分率1/9			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
備品購入費	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
按分率1/3				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
事務用品購入費				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計						563,446	1,500	130,996	5,300	60,090	23,190	76,827	5,300	184,973	5,300	5,300	56,010	5,300		

調査研究・研修・広報・広聴・要請・陳情・会議
活動記録報告書

議員名： 末吉 利啓

日 時	平成 29 年 5 月 9 日～5 月 11 日		
場 所	徳島県三好市、高知県中土佐町、広島県安芸高田市		
相 手 方	徳島県三好市、高知県中土佐町、広島県安芸高田市各役所		
調査目的 結果等			
使途項目 (該当項目に○) ・調査研究費 ・研修費 ・広報費 ・広聴費 ・要請・陳情費 ・会議費 上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等		金 額
	JR・私鉄		44195 円
	バス・タクシー		2189 円
	飛行機代		24390 円
	宿泊料		19300 円
	研修負担金		円
	その他	保険 500 円 駐車場 1800 円 土産 545 円	2845 円
	合 計		92919 円
【領収書添付枠】 ※市外で行われる会議や研修の開催通知を添付 ※市外への視察行程表及び視察報告書等を添付			

70774

足利市議会 あしかが未来倶楽部 行政視察日程

- 視察月日 平成29年5月9日（火）～ 11日（木）
- 視察都市
 - 徳島県三好市 [三好市池田町シンマチ1500番地2 TEL:0883-72-7630]
 - 高知県中土佐町 [高岡郡中土佐町久礼6602-2 TEL:0889-52-2410]
 - 広島県安芸高田市 [安芸高田市吉田町吉田791番地 TEL:0826-42-5621]
- 視察事項
 - 徳島県三好市 「外国人観光誘客施策について」
 - 高知県中土佐町 「地場産業振興による雇用創出の取り組みについて」
 - 広島県安芸高田市 「地域人材育成コンソーシアム事業について」

○ 視察行程

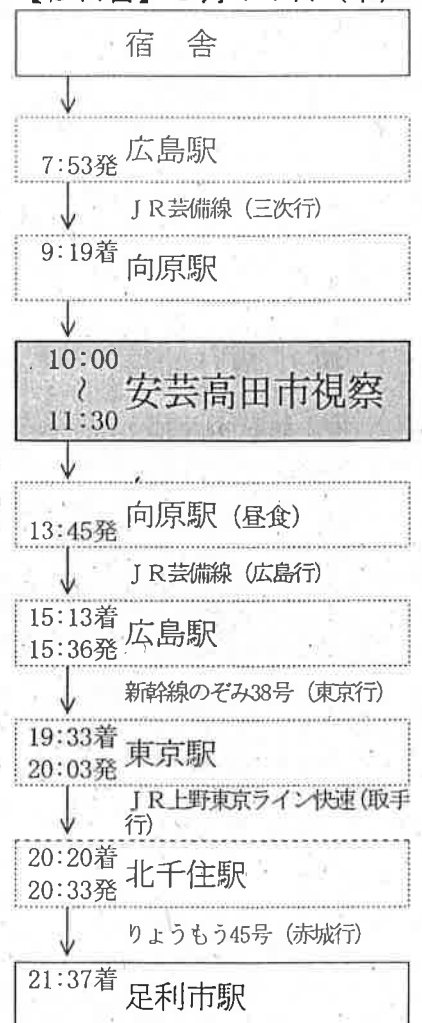
【1日目】5月9日（火）



【2日目】5月10日（水）



【3日目】5月11日（木）



●あしかが未来倶楽部会派視察旅費 H29. 5. 9~5. 11 (三好市・中土佐町・安芸高田市)

(単位: 円)

摘要	金額	備考
交通費	67,770	[5/ 9] 東武鉄道乗車券 足利市-浅草 @970 JAL455便 @24,390 JR指定席 剣山5号 @1,700 JR指定席 南風15号 @1,700
		[5/10] JR指定席 しまんと1号 @1,700 JR指定席 南風20号 @1,340 JR指定席 のぞみ41号 @3,210
		[5/ 9~10] JR乗車券 徳島-土佐久礼 @3,830
		[5/10~11] JR乗車券 土佐久礼-向原 @7,600
		[5/11] JR指定席 のぞみ38号 @7,420 東武鉄道 りょうもう45号 @1,920 JR乗車券 向原-北千住 @11,990
		[5/ 9] ホテル日航高知旭ロイヤル (高知市内) @10,000 ※朝食付、シングル
		[5/10] ホテル法華クラブ広島 (広島市内) @9,300 ※朝食付、シングル
国内旅行保険	500	3日間 @500
合計	87,570	

+タシ 1749円
+A'S 440円
+地下鉄 655円
+路面 160円

3,004円

+駐車場 1800円
+土産 545円

2345円

領 収 証

株式会社 JTB関東



No 10873912700-11-60

2017年 5月 1日

領収権

上記の金額正に領収いたしました

¥ 87,070 ※

但し 5月 9日 国内旅行ご旅行代金として

2017/05/01 現金 ¥87,070

ご入金内訳

出納責任者 関JTB関東 両毛支店

取扱者 0284-70-0118



領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

©3012013

N 097002
お客様用



駐車券↑

タイムズ24株式会社

足利市駅前駐車場

0120-70-8924

17-05-09 1-0001
05:41

精算05-11 21:47
駐車時間 2日16時間 6分
駐車料金 1,800円
割引 0円

令頁4又書
前払 0円
現金 1,800円
釣銭 200円

NO. 103018

支 払 説 明 書

平成29年5月9日

金 額			1	8	0	0	円
-----	--	--	---	---	---	---	---

支出内容	駐車場代
支出目的	移動のため
支 払 先	タイムズ24株式会社
支払項目 (いずれかに○印)	1研究研修費 2研修費 3広報費 4広聴費 5要請・陳情活動費 6会議費 7資料作成費 8資料購入費 9人件費 10事務所費

- レシートやチケットなど宛名の記載がない場合に使用。
裏面にレシートやチケットを添付する。

支 払 証 明 書

平成 29 年 5 月 9 日

金 額		¥	6	5	5	円
-----	--	---	---	---	---	---

支出内容	鉄道運賃（路面電車）																								
支出目的	移動のため（浅草駅→羽田空港駅）																								
支 払 先	東日本地下鉄道株式会社																								
支払項目 (いずれかに○印)	<table border="0"> <tr> <td>1</td><td>研究研修費</td> <td>2</td><td>調査旅費</td> <td>3</td><td>広報費</td> <td>4</td><td>広聴費</td> </tr> <tr> <td>5</td><td>要請・陳情活動費</td> <td>6</td><td>会議費</td> <td>7</td><td>資料作成費</td> <td></td><td></td> </tr> <tr> <td>8</td><td>資料購入費</td> <td>9</td><td>人件費</td> <td>10</td><td>事務所費</td> <td></td><td></td> </tr> </table>	1	研究研修費	2	調査旅費	3	広報費	4	広聴費	5	要請・陳情活動費	6	会議費	7	資料作成費			8	資料購入費	9	人件費	10	事務所費		
1	研究研修費	2	調査旅費	3	広報費	4	広聴費																		
5	要請・陳情活動費	6	会議費	7	資料作成費																				
8	資料購入費	9	人件費	10	事務所費																				

- 領収書やレシートが発行されない経費について使用。
バス代や地下鉄代金など領収書の発行ができないものを補完するものとして使用する。

支 払 証 明 書

平成29年 5月 10日

金 額		¥	1	6	0	円
-----	--	---	---	---	---	---

支出内容	鉄道運賃
支出目的	移動のため（広島駅→袋町）※ホテル法華クラブ広島の最寄駅まで
支払先	広島交通局（路面電車）
支払項目 (いずれかに○印)	① 研究研修費 2 調査旅費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- 領収書やレシートが発行されない経費について使用
バス代や地下鉄代金など領収書の発行ができないものを補完するものとして使用する。

支 払 証 明 書

平成 29 年 5 月 9 日～11 日

金 額		¥	1	7	4	9	円
-----	--	---	---	---	---	---	---

支出内容	タクシー代金
支出目的	移動のため
支 払 先	高知観光タクシー(株)、城南タクシー、(有)旭タクシー、(個人)井本タクシー、トサハイヤー(株)、広交タクシー(株)、向原タクシー、
支払項目 (いずれかに○印)	<input checked="" type="radio"/> 1 研究研修費 2 調査旅費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- 領収書やレシートが発行されない経費について使用
バス代や地下鉄代金など領収書の発行ができないものを補完するものとして使用する。

5 月 9 日⇒¥306

5 月 10 日⇒¥206

5 月 11 日⇒¥1,237

ロファシ-代. 2017. 5. 9. (火)

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。
無線番号 215号
2017年05月09日

乗車料金 **¥720円**

上記の通り正に領収致しました。

高知県観光タクシー(株)
高知市若松町青柳218番地
TEL 882-3234

またのご乗車お待ちしております。

領収書

2017年05月09日-090
メーター運賃 ¥800円
合計 ¥800円
現金支払 ¥800円
無線番号 0208

毎度ご乗車ありがとうございます。
高知個人タクシー協同組合
高知市一宮東町5-21-11
TEL(代) 088-846-5533
配車専用 0120-560-194
(個人) 城南タクシー

領収書

No. 3595

日付 2017年05月09日
車番 000504 0000
基本運賃 ¥880円
合計 ¥880円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。
ございます。

(有)旭タクシー
高知市南御座17-14
TEL 088-883-0600

合計 72370

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。
無線番号 548号
2017年05月09日

乗車料金 **¥970円**

上記の通り正に領収致しました。

四国個人タクシー協同組合
(個人) 井本タクシー
高知市相模町13-17
TEL 0120-373-086
TEL 090-8976-3635

$72370 \div 11 = 7306$

* 1人当り 7306

。77シ-代 2017. 5.10 (水)

領収証

メーター	¥730
合計	¥730
現金	¥730

トサハイヤー(カフ)
 コウチ ミナミマルチヨウ 18-2
 TEL 088-832-1313
 アリカトウゴロサイマヌ
 17-05-10 /
 00000316 00000054
 トウゴ レシートNo.0001

領収証

メーター	¥730
合計	¥730
現金	¥730

トサハイヤー(カフ)
 コウチ ミナミマルチヨウ 18-2
 TEL 088-832-1313
 アリカトウゴロサイマヌ
 17-05-10 /
 00000309 00000052
 トウゴ レシートNo.0001

領収証

メーター	¥810
合計	¥810
現金	¥810

トサハイヤー(カフ)
 コウチ ミナミマルチヨウ 18-2
 TEL 088-832-1313
 アリカトウゴロサイマヌ
 17-05-10 /
 00000312 00000025
 トウゴ レシートNo.0002

合計 ¥2,270

¥2,270 ÷ 11 = ¥206

※1人当り ¥206

。77シ-代 2017. 5.11 (木)

領収証

No.7656

日付 '29年05月11日 /
 車番 000580 000
 基本運賃 ¥1030円
 合計 ¥1030円
 上記の通り領収致しました
 通行料 円

(チケットの場合:料金確認証)

毎度ご乗車ありがとうございます。
 お客様との出迎いを大切に致します。

広交タクシー株式会社

本社 広島市西区観音新町3-2-1

TEL 082-291-3232

緑井 安佐南区緑井6-25-35

TEL 082-870-1616

領収証

No.7799

日付 '29年05月11日 /
 車番 000586 000
 基本運賃 ¥1110円
 合計 ¥1110円
 上記の通り領収致しました
 通行料 円

(チケットの場合:料金確認証)

毎度ご乗車ありがとうございます。
 お客様との出迎いを大切に致します。

広交タクシー株式会社

本社 広島市西区観音新町3-2-1

TEL 082-291-3232

緑井 安佐南区緑井6-25-35

TEL 082-870-1616

領収証

No.1623

日付 '29年05月11日 /
 車番 000513 000
 基本運賃 ¥1110円
 合計 ¥1110円
 上記の通り領収致しました
 通行料 円

(チケットの場合:料金確認証)

毎度ご乗車ありがとうございます。
 お客様との出迎いを大切に致します。

広交タクシー株式会社

本社 広島市西区観音新町3-2-1

TEL 082-291-3232

緑井 安佐南区緑井6-25-35

TEL 082-870-1616

・7/17シ-代 5.11 (木)

領収書

2017年05月11日 / -006
 メーター運賃 ¥3,050円
 運賃料金計 ¥3,050円
合計 ¥3,050円
 現金支払 ¥3,050円
 車両番号 0124
 毎度ご乗車ありがとうございます。

向原タクシー
 広島県安芸高田市向原町坂464
 事務所0826-46-2070

領収書

2017年05月11日 / -002
 メーター運賃 ¥2,130円
 運賃料金計 ¥2,130円
合計 ¥2,130円
 現金支払 ¥2,130円
 車両番号 6139
 毎度ご乗車ありがとうございます。

向原タクシー
 広島県安芸高田市向原町坂464
 事務所0826-46-2070

領収書

2017年05月11日 / -007
 メーター運賃 ¥3,050円
 運賃料金計 ¥3,050円
合計 ¥3,050円
 現金支払 ¥3,050円
 車両番号 0124
 毎度ご乗車ありがとうございます。

向原タクシー
 広島県安芸高田市向原町坂464
 事務所0826-46-2070

合計 ¥13,610 /

¥13,610 ÷ 11 = ¥1,237 /

※ 1人当り ¥1,237 /

領収書

2017年05月11日 / -004
 メーター運賃 ¥2,130円
 運賃料金計 ¥2,130円
合計 ¥2,130円
 現金支払 ¥2,130円
 車両番号 6195
 毎度ご乗車ありがとうございます。

向原タクシー
 広島県安芸高田市向原町坂464
 事務所0826-46-2070

3人当り

※ 1人当り ¥1,749 /

支 払 証 明 書

平成 29 年 5 月 9 日

金 額		¥	4	4	0	円
-----	--	---	---	---	---	---

支出内容	バス代金
支出目的	移動のため
支 払 先	徳島バス
支払項目 (いずれかに○印)	<input checked="" type="radio"/> 1 研究研修費 2 調査旅費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- 領収書やレシートが発行されない経費について使用
バス代や地下鉄代金など領収書の発行ができないものを補完するものとして使用する。

2017.5.9 (火)

領収書

2017年 5月 9日(火) 10:57 001号機

¥4,840-

上記金額を領収いたしました

10:57
徳島バス/徳島空港

バス

徳島空港 → 徳島駅前.

$$¥4,840 \div 11 = ¥440$$

※ 1人当り ¥440

ジェイアイ傷害火災保険株式会社
 国内旅行保険 加入者証 (団体用)
 当会社は下記の内容に基づき次のとおり加入者証を交付します。
 契約者 : カ) JTBカントウ
 加入依頼者: ヤナギ シユウイチロウ様

団体人数: 11名

加入者証番号: E404545883 POLICY: EA00002677		
保険料		¥5,500
保険期間: 2017年05月09日から2017年05月11日まで	3日間	タイプ: BG
補償項目および1名あたりの保険金額: 明細券のとおり	発券枚数2枚	
国内旅行傷害保険特約付帯 その他の特約は、明細券およびご契約のしおりにてご確認ください。		
契約-領収-発行日 17-05-01	代理店名: JTB関東 1429 両毛支店	1ENKL9-01001



* 保険約款については別紙をご参照ください。
 * 加入依頼者住所は加入依頼書記載のとおり。

1324 0010002

ジェイアイ傷害火災保険株式会社
 国内旅行保険 明細券 (団体用)

POLICY: EA00002677
 加入者証番号: E404545883

補償項目

傷害死亡・後遺障害****930万円

傷害入院保険金日額***5,000円

傷害通院保険金日額***3,000円

個人賠償責任*****1,000万円

携行品損害*****10万円

救援者費用*****50万円

臨時費用*****60万円

契約-領収-発行日
17-05-01

代理店名: JTB関東
1429 両毛支店

1ENKL9-01002



1324 0010003

支 払 証 明 書

平成 29 年 5 月 5 日

金 額		¥	5	4	5	円
-----	--	---	---	---	---	---

支出内容	品代
支出目的	視察先手土産代金
支 払 先	香雲堂
支払項目 (いずれかに○印)	1 研究研修費 2 調査旅費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- 領収書やレシートが発行されない経費について使用
バス代や地下鉄代金など領収書の発行ができないものを補完するものとして使用する。

領 収 証

No. _____

平成 29 年 5 月 5 日

おかが村自身様

下記の通り領収いたしました

合計 ￥6,000-



香 雲 堂

(有)古代瓦煎餅本舗
足利市通 3-2617
電話 (0284) 21-4669
FAX (0284) 21-4644

月 日	品 名	単 価	数 量	金 額
	品 代			6000
合 計				¥6000

予土産代.

$$¥6,000 \div 11 = ¥545$$

* 1人当り ¥545

調査研究・研修・広報・広聴・要請・陳情・会議
活動記録報告書

議員名： 末吉 利啓

日 時	平成 29 年 7 月 6 日～7 月 7 日		
場 所	新潟県新潟市		
相 手 方	新潟市役所		
調査目的 結果等	図書館とミズベリング事業の視察 結果 → 今後の議会活動の参考になった		
用途項目 (該当項目に○) ・調査研究費 ・研修費 ・広報費 ・広聴費 ・要請・陳情費 ・会議費 上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等		金 額
	JR		18140 円
	バス・タクシー		円
	飛行機代		円
	宿泊料		8600 円
	研修負担金		円
	その他	土産 182 円	182 円
合 計		26922 円	
【領収書添付枠】 ※市外で行われる会議や研修の開催通知を添付 ※市外への視察行程表及び視察報告書等を添付			

足利市議会 行政視察日程

○ 視察月日 平成29年7月6日(木)～7日(金)

○ 視察都市
 新潟市 [〒951-8550 新潟県新潟市中央区学校町通1番町602-1 Tel:025-226-3385 (直通)]
 人口 797,965人 (29.04.30現在) 議員定数51人 ご担当：ワタナベ様
 新発田市 [〒999-2292 新潟県新発田市中央町3丁目3-3 Tel:0254-22-3030 (直通)]
 人口 99,279人 (29.04.30現在) 議員定数27人 ご担当：ミヤシタ様

○ 視察事項
 ・学校図書館支援センターの取り組みについて [新潟市]
 ・ミズベリング信濃川やすらぎ提について [新潟市]
 ・新発田駅前複合施設「イクネスしばた」について [新発田市]

○ 視察参加者 議員11名

《会派：あしかが未来倶楽部》

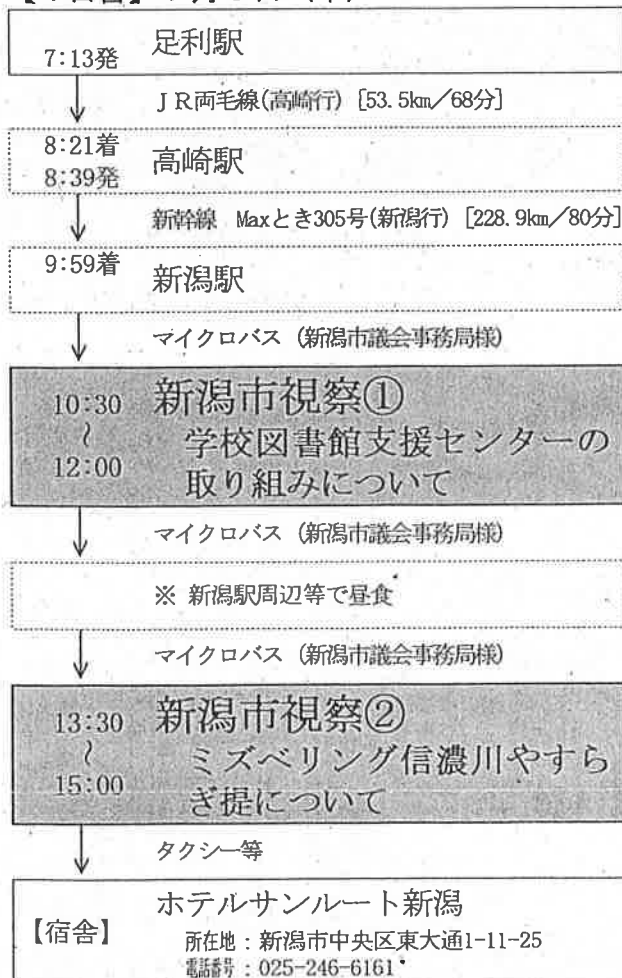
荻原 久雄 (会長/3期)、柳 収一郎 (3期)、栗原 収 (3期)、
 横山 育男 (2期)、小林 貴浩 (2期)、金子 裕美 (2期)、杉田 光 (2期)、
 大谷 弥生 (1期)、須田 瑞穂 (1期)、末吉 利啓 (1期)

《副議長》 斎藤 昌之 (3期)

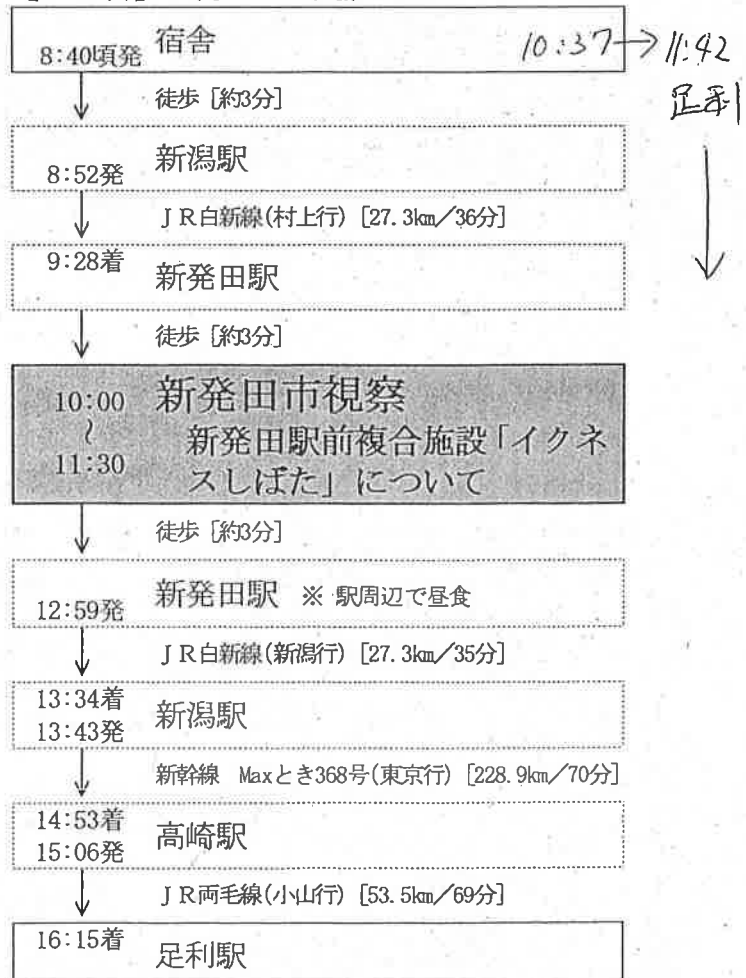
※大谷議員、末吉議員は7日の視察事項は不参加

○ 視察行程

【1日目】7月6日(木)



【2日目】7月7日(金)



末吉議員

●視察旅費精算書（1人当たり）


[H29.7.6~7（新潟市、新発田市）]

（単位：円）

摘要	金額	備考	
交通費	18,140	乗車券（足利駅～新潟駅／往復）	10,160
		特急券（高崎駅～新潟駅／往復）	7,980
宿泊費	8,600	ホテルサンルート新潟（1泊朝食付、シングル）	8,600
合計	26,740		

事前お預かり金 26,740円 - 精算額 26,740円 = 差し引きご返金額 0円

領収証

株式会社 JTB 関東 

末吉 利徳 様
下記金額正に領収いたしました

No 10873913100-12-19
2017年 7月 4日

¥ 26,740 ※

但し 7月 6日 ご旅行代金として

ご入金
内訳

2017/06/30 現金 ¥26,740



出納責任者 
株式会社 JTB 関東

取扱者 
0284-70-0118



領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

◎3012013

P

お客様用

行政視察先 手土産代

平成 29 年 7 月 6 日(木) 視察先：新潟県新潟市

参加者名：①斎藤副議長②荻原議員③柳議員④栗原議員⑤横山議員
 ⑥小林（貴）議員⑦金子議員⑧杉田議員⑨大谷議員⑩須田議員
 ⑪末吉議員 計 11 名

$2,000 \text{ 円} \div 11 \text{ 名} = (\text{おおよそ 1 人あたり}) 182 \text{ 円}$

A : $182 \text{ 円} \times 11 \text{ 名} = 2,002 \text{ 円}$

平成 29 年 7 月 7 日(金) 視察先：新潟県新発田市

参加者名：①斎藤副議長②荻原議員③柳議員④栗原議員⑤横山議員
 ⑥小林（貴）議員⑦金子議員⑧杉田議員⑨須田議員 計 9 名

$2,000 \text{ 円} \div 9 \text{ 名} = (\text{おおよそ 1 人あたり}) 222 \text{ 円}$

B : $222 \text{ 円} \times 9 \text{ 名} = 1,998 \text{ 円}$

A + B = 4,000 円

参加者別負担表

① 斎藤副議長	404円
② 荻原議員	404円
③ 柳議員	404円
④ 栗原議員	404円
⑤ 横山議員	404円
⑥ 小林（貴）議員	404円
⑦ 金子議員	404円
⑧ 杉田議員	404円
⑨ 大谷議員	182円
⑩ 須田議員	404円
⑪ 末吉議員	182円 ○

$404 \text{ 円} \times 9 \text{ 名} (3,636 \text{ 円}) + 182 \text{ 円} \times 2 \text{ 名} (364 \text{ 円}) = 4,000 \text{ 円}$

領 収 証

No.

足利材料倶楽部様

下記の通り領収いたしました

合計 4,000

平成 29 年 6 月 30 日

(有)古代瓦煎餅本舗



香 雲 堂

足利市通 3 - 2617

電話 (0284) 21-4669

FAX (0284) 21-4644

月 日	品 名	単 価	数 量	金 額
	瓦煎餅	2000	2	4000
合 計				4,000

調査研究・**研修**・広報・広聴・要請・陳情・会議
活動記録報告書

議員名： 末吉 利啓

日 時	平成 29 年 5 月 1 8—1 9 日	
場 所	明治大学	
相 手 方	日本自治創造学会	
調査目的 結果等	「日本自治創造学会研究大会」の参加 結果 → 今後の議会活動の参考になった	
使途項目 (該当項目に○) ・調査研究費 ・ 研修費 ・広報費 ・広聴費 ・要請・陳情費 ・会議費 上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等	金 額
	JR・私鉄・飛行機	8020 円
	バス・タクシー	円
	有料道路料金・燃料費	円
	宿泊料	円
	研修負担金	15000 円
	その他	駐車場 1200 円
	合 計	24220 円
【領収書添付枠】 ※市外で行われる会議や研修の開催通知を添付 ※市外への視察行程表及び視察報告書等を添付		

研修工程表 (平成 29 年 1 月 27 日 / 東京都文京区)

議員名： 末吉 利啓

行程

【5/18】

足利市

↓ (運賃 1080 円 / 特急券 1030 円)

北千住

↓

新御茶ノ水

↓ (徒歩)

明治大学

↓ (徒歩)

新御茶ノ水

↓

北千住

↓ (運賃 1080 円 / 特急券 820 円)

足利市

【5/19】

足利市

↓ (運賃 1080 円 / 特急券 1030 円)

北千住

↓

新御茶ノ水

↓ (徒歩)

明治大学

↓ (徒歩)

新御茶ノ水

↓

北千住

↓ (運賃 1080 円 / 特急券 820 円)

足利市

※特急券以外領収書なし

支 払 証 明 書

平成 29 年 5 月 18-19 日

金 額			4	3	2	0	円
-----	--	--	---	---	---	---	---

支出内容	足利市駅から新御茶ノ水駅までの交通費（電車乗車券）
支出目的	明治大学での学会参加のため
支 払 先	東武鉄道株式会社・東京メトロ
支払項目 (いずれかに○印)	1 研究研修費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- 領収書やレシートが発行されない経費について使用。
バス代や地下鉄代金など領収書の発行ができないものを補完するものとして使用する。

支 払 説 明 書

平成 29 年 5 月 18-19 日

金 額			3	7	0	0	円
-----	--	--	---	---	---	---	---

支出内容	足利市駅から北千住駅までの交通費（電車特急券）
支出目的	明治大学での学会参加のため
支 払 先	東武鉄道会社
支払項目 (いずれかに○印)	1 研究研修費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- レシートやチケットなど宛名の記載がない場合に使用。
裏面にレシートやチケットを添付する。

支 払 説 明 書

平成 29 年 5 月 18-19 日

金 額			1	2	0	0	円
-----	--	--	---	---	---	---	---

支出内容	駐車料金
支出目的	明治大学での学会参加のため
支 払 先	タイムズ24 株式会社
支払項目 (いずれかに○印)	1 研究研修費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- レシートやチケットなど宛名の記載がない場合に使用。
裏面にレシートやチケットを添付する。

領 収 書

No.

171

末吉利啓

殿

平成 29年 5月 18日

¥ 1 5, 0 0 0

但し 日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (29.5.18~.5.19)
上記の金額を領収いたしました

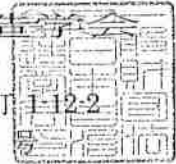
財団法人 日本自治創造学会

理事長

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-12-2

タック馬喰町 707 号

TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473



領収書

ご利用日付 2017年05月18日
時刻 10時28分

取引内容: 特急券 金 1030円

伝票番号: 71849

- この領収書は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

足利市駅 券11 発行
東武鉄道

領収書

ご利用日付 2017年05月18日
時刻 16時24分

取引内容: 特急券 金 820円

伝票番号: 53121

- この領収書は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

北千住駅 券35C発行
東武鉄道



駐車券↑

タイムズ24株式会社

足利市駅前駐車場

0120-70-8924

17-05-18 1-0005 10:25

精算05-18 18:10
駐車時間 7時間45分
駐車料金 600円
割引 0円

領収書
前払 0円
現金 600円
釣銭 0円
NO. 103084

領収書

ご利用日付 2017年05月19日
時刻 13時56分

取引内容: 特急券 金 820円

伝票番号: 60801

- この領収書は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

北千住駅 券34C発行
東武鉄道

領収書

ご利用日付 2017年05月19日
時刻 07時20分

取引内容: 特急券 金 1030円

伝票番号: 64044

- この領収書は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

足利市駅 券12 発行
東武鉄道



駐車券↑

タイムズ24株式会社

足利市駅前駐車場

0120-70-8924

17-05-19 1-0005 07:16

精算05-19 15:08
駐車時間 7時間52分
駐車料金 600円
割引 0円

領収書
前払 0円
現金 600円
釣銭 0円
NO. 103092

調査研究・**研修**・広報・広聴・要請・陳情・会議
活動記録報告書

議員名： 末吉 利啓

日 時	平成 29 年 7 月 27 日	
場 所	アットビジネスセンター池袋駅前別館	
相 手 方	地方議会総合研究所	
調査目的 結果等	目に見えて進む広報改革～かつての「常識」に大きな変化 ～への参加 結果 → 今後の議会活動の参考になった	
使途項目 (該当項目に○) ・調査研究費 ・ 研修費 ・広報費 ・広聴費 ・要請・陳情費 ・会議費 上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等	金 額
	JR・私鉄・飛行機	2220 円
	バス・タクシー	円
	有料道路料金・燃料費	円
	宿 泊 料	円
	研修負担金	25000 円
	そ の 他	648 円
合 計	27868 円	
【領収書添付枠】 ※市外で行われる会議や研修の開催通知を添付 ※市外への視察行程表及び視察報告書等を添付		

研修工程表 (平成 29 年 7 月 27 日 / 東京都豊島区)

議員名： 末吉 利啓

行程	<p>【7/27】</p> <p>足利市 ↓ (運賃 890 円) 北千住 ↓ (運賃 220 円) 池袋駅 ↓ (徒歩) 池袋会場 ↓ (徒歩) 池袋 ↓ (運賃 220 円) 北千住 ↓ (運賃 890 円) 足利市</p>
----	--

支 払 証 明 書

平成 29 年 7 月 27 日

金 額			2	2	2	0	円
-----	--	--	---	---	---	---	---

支出内容	足利市駅から池袋駅までの交通費（電車乗車券）
支出目的	目に見えて進む広報改革～かつての「常識」に大きな変化 ～に参加のため
支 払 先	東武鉄道株式会社・JR
支払項目 (いずれかに○印)	1 研究研修費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- 領収書やレシートが発行されない経費について使用。
バス代や地下鉄代金など領収書の発行ができないものを補完するものとして使用する。

領収証

No. _____

末吉 利啓 様

平成29年7月27日

金額 **¥25,000**

内	
消費税等	
現金	

但 7月27日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました



〒152-0032

東京都目黒区平町1-9-15

株式会社 地方議会総



振込受付書 (兼手数料受取書)

翌日発信了承済

振込日 (年) 29 (月) 07 (日) 10

お振込先 株式会社 地方議会総合研究所様へ

お受取人 (おなまえ) 株式会社 地方議会総合研究所様へ

金額 25,000円

お振込先 (おなまえ) 足利市議会 末吉利啓
お振込先 (おところ) 栃木県足利市本城3丁目2145 様から

- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない理由によって振込が遅延することもありますのでご了承ください。
- 振込内容につき訂正・取消が生じた場合は、各種依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。この場合、振込手数料は返却いたしません。なお、場合によっては取消ができないこともあります。この場合、取消手続に関わる手数料は返却いたしません。
- ※お振込金区分が「現金・小切手等・第3者から振替」のときは、本書は「振込金受取書(兼手数料受取書)」といたします。なお、振込金受取書のときは表題の訂正はいたしません、あしからずご了承ください。

振込手数料 648円 (消費税が含まれています)

このたびは〈あしぎん〉をご利用いただきまして
まことにありがとうございます。
今後とも〈あしぎん〉をご用命くださいますよう
よろしくお願い申し上げます。

※お振込金区分(○印)
現金・小切手等 第3者から振替
預金払戻請求書 預金口座振替

出納 29.7.10 足利銀行足利支店 足利市役所出張所

収入印紙 「振込金受取書」のとき振込金+手数料 17号-2 ご本人口座への入金はずべて課税 14号

足利銀行

店

調査研究・**研修**・広報・広聴・要請・陳情・会議
活動記録報告書

議員名： 末吉 利啓

日 時	平成 29 年 8 月 16 日～18 日	
場 所	衆院第二議員会館多目的会議室・了徳寺大学 202 教室	
相 手 方	関東若手市議会議員の会・全国若手市議会議員の会	
調査目的 結果等	各研修会への参加 結果 → 今後の議会活動の参考になった	
用途項目 (該当項目に○)	経費の内容・積算基礎等	金 額
<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究費 ・ 研修費 ・ 広報費 ・ 広聴費 ・ 要請・陳情費 ・ 会議費 	JR・私鉄・飛行機	7740 円
	バス・タクシー	円
	有料道路料金・燃料費	円
	宿泊料	5950 円
	研修負担金	3000 円
	その他	駐車場代
上記活動に 要した経費	合 計	17890 円
<p>【領収書添付枠】</p> <p>※市外で行われる会議や研修の開催通知を添付</p> <p>※市外への視察行程表及び視察報告書等を添付</p>		

研修工程表 (平成 29 年 8 月 16 日～18 日 / 東京都千代田区・千葉県浦安市)

議員名： 末吉 利啓

行 程	<p>【8/16】 足利市 ↓ 東武伊勢崎線 (運賃 890 円 + 特急 1030 円) 北千住 ↓ 東京メトロ (運賃 240 円) 国会議事堂前 ↓ (徒歩) 会場 衆院第二議員会館</p>
	<p>【8/17】 会場 衆院第二議員会館 ↓ (徒歩) 国会議事堂前 ↓ 東京メトロ (運賃 240 円) 北千住 ↓ 東武伊勢崎線 (運賃 890 円 + 特急 820 円) 足利市</p>
	<p>【8/18】 足利市 ↓ 東武伊勢崎線 (運賃 810 円) 新越谷・南越谷 ↓ JR 武蔵野線 (運賃 640 円) 新浦安 ↓ 会場 常德寺大学 ↓ 新浦安 ↓ JR 京葉線・上野東京ライン (運賃 470 円) 北千住 ↓ 東武伊勢崎線 (運賃 890 円 + 特急 820 円) 足利市</p>

支 払 証 明 書

平成 29 年 8 月 16 日～18 日

金 額	5	0	7	0	円
-----	---	---	---	---	---

支出内容	足利市駅から国会議事堂前駅までの交通費(電車乗車券) 足利市駅から新浦安駅までの交通費(電車乗車券)
支出目的	関東若手市議会議員の会・全国若手市議会議員の会研修 会～に参加のため
支 払 先	東武鉄道株式会社・JR・東京メトロ
支払項目 (いずれかに○印)	1 研究研修費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- 領収書やレシートが発行されない経費について使用。
バス代や地下鉄代金など領収書の発行ができないものを補完するものとして使用する。

支 払 説 明 書

平成 29 年 8 月 16 日～18 日

金 額		2	6	7	0	円
-----	--	---	---	---	---	---

支出内容	足利市駅から北千住駅までの交通費（特急券）
支出目的	関東若手市議会議員の会・全国若手市議会議員の会研修会～に参加のため
支 払 先	東武鉄道株式会社
支払項目 (いずれかに○印)	1 研究研修費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- レシートやチケットなど宛名の記載がない場合に使用。
裏面にレシートやチケットを添付する。

支 払 説 明 書

平成 29 年 8 月 16 日 ~ 18 日

金 額		1	2	0	0	円
-----	--	---	---	---	---	---

支出内容	駐車場代
支出目的	移動のため
支 払 先	タイムズ24株式会社
支払項目 (いずれかに○印)	1 研究研修費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- レシートやチケットなど宛名の記載がない場合に使用。
裏面にレシートやチケットを添付する。

領 収 書

発行 No.1701902770
表示日: 2017年8月17日

下記、宿泊施設を代理して正に領収いたしました。

宛名	末吉利啓 様
金額	¥5,950-(税込・サ込) ※但し、宿泊代金として(クレジットカード決済)
予約番号	OGEUNUKM
ご利用施設	ザ・ビー 東京 赤坂(the b tokyo akasaka) (じゃらんnet)
宿泊日	2017年8月16日より 1泊

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。
※発行後に予約変更、キャンセルされた場合、本領収書は無効になります。

SoftBank Payment Service
ソフトバンク・ペイメント・サービス株式会社
〒105-8025
東京都港区東新橋1丁目9番2号
汐留住友ビル25階

ご 利 用 明 細 書

発行: No.1701902770
表示日: 2017年8月17日

宿泊内容

宿泊日	予約番号	施設名	人数	室数	泊数
2017年8月16日(水)	OGEUNUKM	ザ・ビー 東京 赤坂(the b tokyo akasaka)	1	1	1

宿泊代表者氏名

末吉 利啓 様

H29.8.16 ~ 17

領収書

ご利用日付 2017年08月17日
時刻 12時35分

取引内容: 特急券 金 820円

伝票番号 17675

- この領収書は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

北千住駅 券09B発行
東武鉄道

領収書

ご利用日付 2017年08月16日
時刻 08時57分

取引内容: 特急券 金 1030円

伝票番号 77440

- この領収書は大切に保存してください。
- 毎度ありがとうございます。

足利市駅 券11 発行
東武鉄道



駐車券
タイムズ24株式会社
足利市駅前駐車場

0120-70-8924

17-08-16 1-0003
08:53

精算08-17 14:11
駐車時間 1日 5時間18分
駐車料金 800円
割引 0円

前払現金 0円
釣銭 800円
200円
NO. 104098

領収証

末吉利啓 様

1,000円

但し、研修会費 として

平成29年8月16日



関東若手市議会議員の会 会長
あきる野市議会議員



H29.8.18

領収書

ご利用日付 2017年08月18日
時刻 14時21分

取引内容: 特急券 金 820円

*伝票番号: 95344

•この領収書は大切に保存してください。

•毎度ありがとうございます。

北千住駅 券O3D発行
東武鉄道



駐車券↑
タイムズ24株式会社

足利市駅前駐車場

0120-70-8924

17-08-18 1-00003
06:51

精算08-18 16:09
駐車時間 9時間18分
駐車料金 400円
割引 0円

前払金 0円
現金 400円
釣銭 600円
NO. 104107

領収証

末吉利啓 様

2,000 円

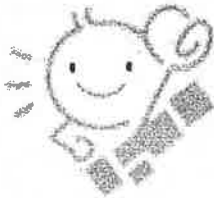
但し、研修会費 として

平成 29 年 8 月 18 日

千葉県香取市北 2-13-23

全国若手市議会議員の会 会

香取市議会議員



調査研究・**研修**・広報・広聴・要請・陳情・会議
活動記録報告書

議員名： 末吉 利啓

日 時	平成 29 年 11 月 8 日～11 月 10 日		
場 所	沖縄県那覇市		
相 手 方	全国都市問題会議実行委員会		
調査目的 結果等	第 79 回全国都市問題会議に参加するため 結果 → 今後の議会活動の参考になった		
使途項目 (該当項目に○) ・調査研究費 ・研修費 ・広報費 ・広聴費 ・要請・陳情費 ・会議費 上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等		金 額
	JR		円
	バス・タクシー	ジャンボタクシー2889円 高速代 462円 タクシー代①～③955円	4306円
	飛行機代	宿泊代込	73300円
	宿 泊 料		円
	研修負担金		10000円
	そ の 他		96円
	合 計		87702円
【領収書添付枠】 ※市外で行われる会議や研修の開催通知を添付 ※市外への視察行程表及び視察報告書等を添付			

調査研究・研修・広報・広聴・要請・陳情・会議
活動記録報告書

議員名： 末吉 利啓

日 時	平成 29 年 11 月 10 日		
場 所	沖縄県那覇市沖縄タイムス本社		
相 手 方	沖縄タイムス		
調査目的 結果等	日本の安全保障に大きくかかわる沖縄の現状を多角的に調査するため 結果 → 今後の議会活動の参考になった		
使途項目 (該当項目に○) ・調査研究費 ・研修費 ・広報費 ・広聴費 ・要請・陳情費 ・会議費 上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等		金 額
		JR	円
		バス・タクシー	円
		飛行機代	円
		宿泊料	円
		研修負担金	1111 円
		その他	視察手土産代 139 円
		合 計	1250 円
【領収書添付枠】 ※市外で行われる会議や研修の開催通知を添付 ※市外への視察行程表及び視察報告書等を添付			

ご旅程表

あしかが未来倶楽部 様

(有)東武トラベルシステム
 〒326-0814 旅行業 3-694号
 栃木県足利市通3丁目2757
 足利商工会議所 友愛会館内
 Tel 0284-22-2303
 Fax 0284-22-2306
 担当者 XXXXXXXXXX

ご旅行先 沖縄県:那覇 方面 参加人数 9 名様

旅行期間 2017年 11月 8日(水) ~ 11月 11日(土) 3泊 4日

(旅館・ホテル 3泊/船・車 泊)

作成日 2017年 9月15日

目次	月 日	行程
1	11月8日 (水)	12:15/13:15 ANA473 15:55 那覇空港発 足利 羽田 羽田空港 ----- 那覇空港 (タクシー10分) ↓ 16:30頃 美栄橋駅着(ホテル徒歩10分) 那覇(泊)
2	11月9日 (木)	9:30 開会式 9:50 基調講演 11:00 主報告 13:10 一般報告 (休憩) 14:40 一般報告 15:50 一般報告 17:00 (終了) 那覇(泊)
3	11月10日 (金)	16:55 ANA472 19:10 那覇空港 ----- 羽田空港 ※未吉 18:25 ANA474 20:40 那覇空港 ----- 羽田空港 ※小林 9:30 パネルディスカッション 12:00 昼食 13:20 沖縄タイムス本社到着 13:30~15:00 沖縄タイムス本社特別研修 那覇(泊)
4	11月11日 (土)	13:00 ANA996 15:20 那覇空港 ----- 羽田空港 ----- 足利 (7名)
< 宿泊施設 > 11月8日 那覇 ホテルタイラ[1室1名様利用] 〒 900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目14-13 TEL 098-868-4515 11月9日 那覇 ホテルタイラ[1室1名様利用] 〒 900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目14-13 TEL 098-868-4515 11月10日 那覇 ホテルタイラ[1室1名様利用] 〒 900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目14-13 TEL 098-868-4515		

お願い / 渋滞混雑等の道路状況を回避する為、予定ルートや利用インターチェンジが変更になる場合があります。また、それに伴い各地への到着時間も変更となる場合があります。

末吉議員・小林（貴）議員

●視察旅費概算額

[H29. 11. 08～10（第79回全国都市問題会議）]

H29. 10. 27(金)現在

(単位：円)

摘要	金額	備考
交通費 宿泊費	73,300	羽田空港⇄那覇空港（飛行機） 沖縄県那覇 2泊（朝食付き） 東武トラベル支払い 73,300
交通費	2,889	ジャンボタクシー（足利市⇄羽田空港） 東武トラベル支払い 52,000※1
会議参加費	10,000	JTB 沖縄へ支払い
手数料	96	会議参加費 振込み手数料 864※2
合計	86,285	

○ その他の飲食代等は含まれていません。

○ ジャンボタクシーでの有料道路の使用料金は当日ドライバーへお支払いとなります。

《参加者按分費用計算式》

※1 ジャンボタクシー 別紙参照

※2 振り込み手数料 864 ÷ 9人 = 96

領 収 証

末吉利啓

様

No.

2017年10月26日

金額

773,300-

但し 視察旅費代金
上記の金額正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)



有限会社 東武トラベルシステム

〒326-0814 栃木県足利市通3丁目27-57

足利商工会議所 友愛会館内

TEL. 0284-22-2303 FAX. 0284-22-2306

会議参加費領収書

末吉利啓 様

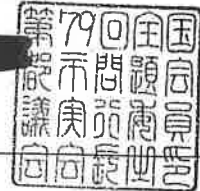
金 10,000 円

但、「第79回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成29年11月 日

第79回全国都市問題会議実行委員会

会 長



ご旅行代金見積書

(有)東武トラベルシステム

〒326-0814 旅行業 3-694号
 栃木県足利市通3丁目2757
 足利商工会議所 友愛会館内
 Tel 0284-22-2303
 Fax 0284-22-2306
 担当者 XXXXXXXXXX

あしかが未来倶楽部 様

ご旅行先 沖縄県:那覇 方面 参加人数 9 名様

旅行期間 2017年 11月 8日(水)～ 11月 11日(土) 3泊 4日
 (旅館・ホテル 3泊/船・車 泊)

作成日 2017年 9月15日

種別	会社・施設名	区間・条件	単価	数	金額
交通費	ジャンボタクシー	足利⇄羽田空港	52,000	1	52,000
	有料道路				当日ドライバーにお支払い
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
					0
宿泊費					0
					0
					0
昼食費					0
					0
					0
入場 拝観料					0
					0
					0
					0
諸経費	旅行傷害保険料	死亡時最高1,000万円			0
	乗務員費用	宿泊代			0
	添乗員費用	寸志			0
旅行費用合計 ①					52,000
旅行業務 取扱料金	企画手配料金(①の3%)				0
	添乗サービス料				0
旅行業務取扱金合計 ②					0
旅行代金合計 (①+②)					52,000
その他 費用等	那覇3日間	エアー&ホテル3泊3朝食付	77,300	7	541,100
	那覇2日間	エアー&ホテル2泊2朝食付	73,300	2	146,600
					0
					0
その他費用等合計 ③					687,700
旅行代金総計 (①+②+③) (1人当り 円)					739,700

備考 (宿泊施設飲物等料金)

	@		@		@
	@		@		@
	@		@		@

- 上記の料金は、作成日現在で計算しておりますので、運賃料金等の改訂・人員変更の場合には料金を変更させていただくことがあります。
- 上記旅行業務取扱料金は、旅行業法に基づき、収受が認められているものです。
- この旅程表・旅行代金見積書は旅行取引条件説明書面及び契約書面の一部になります。
- ご旅行契約後は、当社旅行業款(手配旅行の部)を適応させていただきます。

ジャンボタクシー 往復 ¥52,000

復路 ¥26,000
 往路 ¥26,000 利用者 9名 1人当たり ¥2,889 × 9 = ¥26,001

¥2,889 × 8名 = ¥23,112

¥2,888 × 1名 = ¥2,888

 計 ¥26,000

斎藤副議長 ¥2,889

末吉議員 ¥2,889 ○

大谷議員 ¥2,888

須田議員 ¥2,889

杉田議員 ¥2,889

小林(貴)議員 ¥2,889

横山議員 ¥2,889

栗原議員 ¥2,889

荻原議員 ¥2,889

 計 ¥26,000

復路 ¥26,000 利用者 7名 1人当たり ¥3,715 × 7 = ¥26,005

¥3,715 × 2名 = ¥7,430

¥3,714 × 5名 = ¥18,570

 計 ¥26,000

斎藤副議長 ¥3,714

大谷議員 ¥3,714

須田議員 ¥3,714

杉田議員 ¥3,714

横山議員 ¥3,714

栗原議員 ¥3,715

荻原議員 ¥3,715

 計 ¥26,000

合計

斎藤副議長 ¥6,603

~~末吉議員 ¥2,889 ○~~

大谷議員 ¥6,602

須田議員 ¥6,603

杉田議員 ¥6,603

小林(貴)議員 ¥2,889

横山議員 ¥6,603

栗原議員 ¥6,604

荻原議員 ¥6,604

 計 ¥52,000

領 収 証

No. _____

2017年10月25日

あしかが未来倶楽部 様

金額

752,000-

但し 上記の金額正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)



有限会社 東武トラベルシステム

〒326-0814 栃木県足利市通3丁目2757

足利商工会議所 友愛会館内

TEL. 0284-22-2303 FAX. 0284-22-2306

振込受付書 (兼手数料受取書)

翌日発信了承済

お振込曜日 (何日) 年 月 日
2 9 10 25

お振込先 (おなまえ) 株式会社 JTB 伊勢 様へ

お受取人 (おなまえ) 株式会社 JTB 伊勢 様へ

お振込金額 ¥ 900,000

お振込内容 (おなまえ) 233 足利市 あしかが未来倶楽部

お振込先 (おところ) 足利市本城3丁目2145 足利市議会事務局 様から

- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない理由によって振込が遅延することもありますのでご了承ください。
- 振込内容につき訂正・取消が生じた場合は、各種依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。この場合、振込手数料は返却いたしません。なお、場合によっては取消ができないこともあります。この場合、取消手続に関わる手数料は返却いたしません。
- ※お振込金区分が「現金・小切手等・第三者から振替」のときは、本書は「振込金受取書(兼手数料受取書)」といたします。なお、振込金受取書のときは表題の訂正はいたしません。あしからずご了承ください。

このたびは〈あしぎん〉をご利用いただきまして
まことにありがとうございます。
今後とも〈あしぎん〉をご用命くださいますよう
よろしくお願い申し上げます。

お振込金区分 (印)
○ 現金・小切手等
第3者から振替
預金払戻請求書
預金口座振替



支 払 証 明 書

平成 29年11月8日

金 額		¥	4	6	2	円
-----	--	---	---	---	---	---

支出内容	ジャンボタクシー高速料金代 4,160 円 (足利～空港中央東 中型車) 9名で利用 1人当たり462円
支出目的	沖縄県那覇市での全国都市問題会議へ参加のため
支 払 先	東日本高速道路(株)
支払項目 (いずれかに○印)	1 研究研修費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- 領収書やレシートが発行されない経費について使用。
バス代や地下鉄代金など領収書の発行ができないものを補完するものとして使用する。

支 払 説 明 書

平成29年11月10日

金 額			¥	9	5	5	円
-----	--	--	---	---	---	---	---

支出内容	11/8~11/10 タクシー代
支出目的	移動のため（移動区間は別紙のとおり）
支 払 先	別紙のとおり
支払項目 (いずれかに○印)	1 調査研究費 ②研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- レシートやチケットなど宛名の記載がない場合に使用。
裏面にレシートやチケットを添付する。

領収証

領収証

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。
 車両番号 1421号
 2017年11月08日
 乗車料金
 ￥1180円
 立替金 円

(現金・チケット・クーポン)
 上記の通り正に領収致しました。



沖縄県個人タクシー事業協同組合
 (個人1503号)

恒タクシー

携帯 090-3796-2766
 お忘れ物やご要望がありましたら
 上記の電話番号までご連絡下さい。

毎度ご乗車ありがとうございます。
 車両番号 595号
 2017年11月08日
 乗車料金
 ￥1410円
 立替金 円

(現金・チケット・クーポン)
 上記の通り正に領収致しました。



沖縄県個人タクシー事業協同組合
 (個人615号)

池城Taxi

〒901-0513
 沖縄県八重瀬町字波名城272番地103
 携帯090-4470-0165

毎度ご乗車ありがとうございます。
 車両番号 1314号
 2017年11月08日
 乗車料金
 ￥1250円
 立替金 円

(現金・チケット・クーポン)
 上記の通り正に領収致しました。



沖縄県個人タクシー事業協同組合
 (個人1713号)

多和田タクシー

〒903-0805
 沖縄県那覇市首里鳥堀町5-54-4
 携帯 090-9788-0729

- ① 11月8日(水) 那覇空港 → ホテル, タクシー代 3840円
 |人あたり 4200円⁶ ÷9人
- ② 11月9日(木) ホテル → 会場へのタクシー代 2630円
 |人あたり 290円² ÷9人

領 収 書

No. 9461

日付 2017年 11月 09日
 車番 0134 0000
 基本運賃 ￥900円
 合計 ￥900円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。



タクシー御用命 (24時間営業)
 那覇市内 TEL 853-7801

那覇市内と周辺のいたるところを
 配車区域として無線車をご利用を
 お待ち致しております。

沖縄県那覇市東町19-8
 沖縄第一交通株式会社
 TEL 868-8680

領 収 書

No. 6663

日付 2017年 11月 09日
 車番 0196 0000
 基本運賃 ￥900円
 合計 ￥900円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。



タクシー御用命 (24時間営業)
 那覇市内 TEL 853-7801

那覇市内と周辺のいたるところを
 配車区域として無線車をご利用を
 お待ち致しております。

沖縄県那覇市東町19-8
 沖縄第一交通株式会社
 TEL 868-8680

領 収 書

No. 5705

日付 2017年 11月 09日
 車番 0601 0000
 基本運賃 ￥830円
 合計 ￥830円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます。



毎度ご乗車有り難うございます。
 お忘れ物 お問い合わせは
 下記までご連絡下さい。

株式会社 てだこ第一交通

沖縄県浦添市港川2-25-3
 TEL 098-942-4310
 FAX 098-878-3747

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号 192号
2017年11月10日
乗車料金

¥760円

上記の通り正に領収致しました。

沖東交通グループ
株式会社 沖東交通
沖縄県西原町字小橋川90-1
TEL(098)946-0559 FAX(098)946-5006
タクシーのご用命は沖東無線へ
TEL(098)-946-5005
Contracted With AAFES
AAFES

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号 370号
2017年11月10日
乗車料金

¥690円

上記の通り正に領収致しました。

沖東交通グループ
株式会社 沖東交通
沖縄県西原町字小橋川90-1
TEL(098)946-0559 FAX(098)946-5006
タクシーのご用命は沖東無線へ
TEL(098)-946-5005
Contracted With AAFES
AAFES

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号 103号
2017年11月10日
乗車料金

¥690円

上記の通り正に領収致しました。

沖東交通グループ
株式会社 沖東交通
沖縄県西原町字小橋川90-1
TEL(098)946-0559 FAX(098)946-5006
タクシーのご用命は沖東無線へ
TEL(098)-946-5005
Contracted With AAFES
AAFES

11月10日(金)
③ ホテル → 会場へのタクシー
1人あたり 2300

2140円 ÷ 9人
取引後、帰路。

領収書

2017年11月10日

足利市議会 様

金10,000円

但し、講師料として、上記の金額正に領収致しました。



11月10日(金) 沖縄タイムズ社 研修会 講師料

10,000円 ÷ 9人 = 1人あたり 1111円



支 払 説 明 書

平成29年11月10日

金 額			¥	1	3	9	円
-----	--	--	---	---	---	---	---

支出内容	足鏡1箱(8枚入り) 1,251円 ※9人で購入
支出目的	11/10 沖縄タイムズ本社 研修視察時の手土産代
支 払 先	足利市観光協会 太平記館
支払項目 (いずれかに○印)	①調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- レシートやチケットなど宛名の記載がない場合に使用。
裏面にレシートやチケットを添付する。

足利市観光協会

水平記帳

足利市伊勢町3-6-4
TEL 0284-40-1570

2017年11月6日(月)No2

足鏡 箱8枚入	¥1,290
小計	¥1,290
割引	
3%	-39
小計	¥1,251
合計	¥1,251
(うち消費税	¥92)
お預り	¥10,051
お釣り	¥8,800
初谷	4997.16時19分

11月10日(金) 沖縄7人又"社研修会"の
手工産代

$1251 \text{円} \div 9 \text{人} = 139 \text{円}$

調査研究・研修・広報・広聴・要請・陳情・会議
活動記録報告書

議員名： 末吉 利啓

日 時	平成29年11月14日～16日	
場 所	姫路市文化センター・橿原市役所	
相 手 方	全国市議会議長会・奈良県橿原市	
調査目的 結果等	全国市議会議長会研究フォーラム・視察への参加 奈良県橿原市の「PFI事業による複合施設整備」についての視察 結果 → 今後の議会活動の参考になった	
使途項目 (該当項目に○) ・調査研究費 ・研修費 ・広報費 ・広聴費 ・要請・陳情費 ・会議費 上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等	金 額
	JR・私鉄	36630 円
	バス・タクシー	340 円
	有料道路料金・燃料費	円
	宿 泊 料	23000 円
	研修負担金	研修 7000 円 視察 9000 円 16000 円
	そ の 他	保険 500 円 手土産 357 円 振込手数料 96 円 953 円
	合 計	76923 円
【領収書添付枠】 ※市外で行われる会議や研修の開催通知を添付 ※市外への視察行程表及び視察報告書等を添付		

●視察旅費（須田議員・末吉議員）

[H29. 11. 14~11. 16（^{かしはら}橿原市・姫路市（研究フォーラム））]

（単位：円）

摘 要	金 額	備 考	
交 通 費	36,630	[11/14] 足利市ー北千住 乗車券	@890
		足利市ー北千住 特急券	@1,030
		北千住ー京都 乗車券	@8,210
		北千住ー京都 新幹線(のぞみ313号)	@5,500
		京都ー八木西口 乗車券	@880
		京都ー八木西口 指定券	@900
		八木西口ー鶴橋 乗車券	@560
		八木西口ー鶴橋 指定券	@510
		鶴橋ー姫路 乗車券	@1,660
		[11/16] 姫路ー東京 ひかり480/のぞみ404	@5,820
姫路ー久喜 乗車券	@10,150		
久喜ー足利市 乗車券	@520		
J T B 旅 行 保 険	500	3日間	@500
小 計 A (JTB関東支払分)	37,130		
橿原市手土産代	243	古印最中（香雲堂）@1,944÷8人=243	@1,944
郵 送 代	114	@918÷8≒114.75（115×6人, 114×2人）	@918
小 計 B	357		
研 修 参 加 費	7,000		7,000
視 察 参 加 費	9,000		9,000
宿 泊 費	23,000	[11/14] 東横イン姫路駅新幹線南口 [11/15] 東横イン姫路駅新幹線南口	11,500 11,500
振 込 手 数 料	96	振込み手数料864円÷9人=96円	864
小 計 C (JTB西日本支払分)	39,096		
合 計	76,583	小計A+小計B+小計C	

支払金額 76,583円

上記金額を、11月7日（火）までに議会事務局へご持参ください。

第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路

発行年月日 2017年9月19日

足利市議会
末吉 利啓 様

手配内容回答書面

お申込内容を、以下の通りご回答させていただきますので、ご確認いただけますようお願いいたします。

●参加者登録内容（参加証・名簿への記載内容となりますので間違いがないかご確認下さい）

個人受付番号	氏名	フリガナ	職名
28-2	末吉 利啓	スエヨシ トシヒロ	議員

※問い合わせの際は個人受付番号が必要です。

●フォーラム

開催日	参加会場	参加代金
11/15(水)・16(木)	メイン会場	¥7,000

●宿泊プラン

ご利用日	地区	宿泊施設名	お部屋タイプ	ご旅行代金
11/14(火)	姫路	東横イン姫路駅新幹線南口	ツインorダブル	¥11,500
11/15(水)	姫路	東横イン姫路駅新幹線南口	ツインorダブル	¥11,500
11/16(木)	-	お申込みはありません。	-	-

※姫路地区のホテルへのご希望が集中しており、第3希望までのご希望に沿えない場合は、代案をご提示させていただいております。予めご了承ください。

●視察プラン

ご利用日	コース名	宿泊施設名	お部屋タイプ	ご旅行代金
11/16(木)	【C】たつの市・佐用郡佐用町／地場産業育成事例及び最先端研究基盤施設活用事例視察			¥9,000

◇第1次回答書面についてのお問合せ先◇
株式会社JTB西日本 MICE事業部 担当: [REDACTED]
TEL: 06-6252-5044 FAX: 06-7657-8412
MAIL: shigikai2017himeji@west.jtb.jp
営業時間: 09:30~17:30 (土・日・祝日 休業)

第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路

平成29年11月15日

足利市議会 末吉利啓 様

参加費領収書

第12回全国市議会議長会研究フォーラム実行

委員長



東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第12回全国市議会議長会研究フォーラム in 姫路の参加費として

平成29年11月15日・16日開催 (姫路市)

領収証 RECEIPT



株式会社JTB西日本
JTB Western Japan, Corp.

No. 2017-1797-03343

足利市議会
末吉利啓 様

株式会社JTB西日本
MICE事業部
大阪市中央区南久宝寺町3丁目1番8号
MPR本町ビル7階 〒541-0058



下記の金額正に領収いたしました。

発行日: 平成29年11月15日

¥32,000*

出納責任者	取扱者

但し 第12回全国市議会議長会研究フォーラム
宿泊・視察代金として

11月7日、銀行振込にて入金

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

西日本総財第R16-0001H号

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB関東

E No 090706

末吉利啓 様

株式会社JTB関東
両毛支店 足利市朝倉町2-1-11
TEL 0284-70-0118



平成 29 年 11 月 10 日

下記の金額正に領収いたしました。

¥36,630*

出納責任者	取扱者

但し 1/4 出発 切符代として

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

収 入
印 紙

支 払 説 明 書

平成 29 年 1 1 月 1 4 日 ~ 1 6 日

金 額				3	4	0	円
-----	--	--	--	---	---	---	---

支出内容	ホテルから会場までのタクシー代 2720 円 ÷ 8 名 = 1 名あたり 340 円
支出目的	全国市議会議長会研究フォーラムへの参加
支 払 先	さくら交通、三和タクシー
支払項目 (いずれかに○印)	1 研究研修費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 9 人件費 10 事務所費

- レシートやチケットなど宛名の記載がない場合に使用。
裏面にレシートやチケットを添付する。

11/45. (水) ホテル → 会場 77シー代

2720 A

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号 000001号
2017年11月15日

乗車料金
¥1370円

立替金
円

(現金・チケット・クーポン)
上記の通り正に領収致しました。

さくら交通株式会社

〒670-0974
兵庫県姫路市飯田453の2
TEL 079-234-0680
FAX 079-234-0681

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号 329号

2017年11月15日

乗車料金
¥1350円

立替金
円

(現金・チケット・クーポン)

上記の通り正に領収致しました。

お帰りの際もご利用下さいませ。

三和タクシー(株)

☎079-222-3121

$$2720 \div 8 \text{名} = \text{1人あたり} 340 \text{円}$$

ジェイアイ傷害火災保険株式会社

国内旅行保険 契約証兼保険料領収証 (個人用)

当社は下記保険契約の締結および保険料領収の証として本契約証兼領収証を発行します。

契約者 : アシカガミライクラブ ダイヒヨウ クリハラオサム様

被保険者 : 別紙明細の通り

被保険者数 : 8名



保険期間 : 2017年11月14日から2017年11月16日まで	契約証番号 : E022321765 保険料 (一括払) : ¥4,000 3日間	発券枚数2枚	タイプ: 16
補償項目および1名あたりの保険金額 : 明細券のとおり 国内旅行傷害保険特約付帯 その他の特約は、明細券およびご契約のしおりにてご確認ください。			印紙税申告納 付につき浦和 税務署承認済
領収-発行日 17-11-09	代理店名・作成者 : JTB関東 1429 両毛支店	契約日 2017.11.09 YREWL9-01001	



- * 保険約款については別紙をご参照ください。
- * 契約者住所は申込書記載の通り。

1324 0010283

ジェイアイ傷害火災保険株式会社

国内旅行保険 明細券 (個人用)

契約証番号 : E022321765

補償項目

傷害死亡・後遺障害 * * * * 355万円

傷害入院保険金日額 * * * 3,000円

傷害通院保険金日額 * * 2,000円

個人賠償責任 * * * * 3,000万円

携行品損害 * * * * 5万円

救急者費用 * * * * 100万円

臨時費用 * * * * 60万円

領収-発行日 17-11-09	代理店名 : JTB関東 1429 両毛支店	YREWL9-01002
--------------------	---------------------------	--------------



1324 0010284

@500 x 8人 = 4,000円

振込受付書 (兼手数料受取書)

お振込指定日 (10位) 年 月 日
2 9 / 1 1 0 7

翌日発信了承済

三菱東京UFJ

支店 千代田

支店

カ) JT B ニ シ ニ ホ ン

口座番号

[Redacted]

金額 十位 百位 千位 円
3 4 1 8 0 0

振込手数料 円
8 6 4
(消費税が含まれています)

(おなまえ) 株式会社 JT B 西日本 様へ

- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない理由によって振込が遅延することもありますのでご了承ください。
- 振込内容につき訂正・取消が生じた場合は、各種依頼書の提出および別途当行所定の手数料が必要となります。この場合、振込手数料は返却いたしません。なお、場合によっては取消ができないこともあります。この場合、取消手続に関わる手数料は返却いたしません。
- ※お振込金区分が「現金・小切手等 第三者から振替」のときは、本書は「振込金受取書 (兼手数料受取書)」といたします。なお、振込金受取書のときは表題の訂正はいたしません。あしからずご了承ください。

28 ア シ カ ガ シ キ カ イ ア
シ カ ガ ミ ラ イ ア ク ラ ブ

(おなまえ) 28 足利市議会 あしが未来倶楽部

(おとこと) 足利市本城 3丁目 2145
足利市議会事務局 様から

おでんり 0 2 8 4 2 0 2 2 0 4

このたびは「あしぎん」をご利用いただきましてまことにありがとうございます。今後とも「あしぎん」をご用命くださいますようお願い申し上げます。

※お振込金区分(印)	
<input checked="" type="checkbox"/>	現金・小切手等 第三者から振替
<input type="checkbox"/>	預金払戻請求書 預金口座振替



領 収 證 No. _____

あしかが未来倶楽部様

〒 2,862 -

上記金額正に領収致しました

17年 11 月 9 日

中印煎餅 古印煎餅 銘菓

香雲堂本店

本店 足利市通4丁目2570番地
電話 0284(21)4964番
八幡店 足利市八幡町1丁目2-14番地
電話 0284(70)0525番

宅急便 (M) 品番901
お預け先様の「郵便番号」をご記入をお願いします。
本線区内をホテルへ強く記入して下さい。

(数字の書き方) がもつる 有らぬものを 記入する場合は、

TO 郵便番号 634-8586
お届先 TEL 0744214111
住所・Receiver 奈良県橿原市八木町 1丁目1-18
氏名・Receiver 奈良県 橿原市議会 様 138852
FROM 郵便番号 326-8601
お届先 TEL 0284(-20-2)204
住所・Shipper 栃木県足利市本城3丁目 2145
氏名・Shipper 138851

お荷物のお問い合わせはヤマト運輸ホームページへ ヤマト運輸 検索

お問い合わせ 4464-8189-0120

お届先ご希望日 11月13日

お届先のご希望時間帯

品名 (ワレモノ・なまもの) Contents (Fragile・Perishable)
裏面の「宅急便で特にご注意いただきたい主な品目」をよくご確認ください。
品名は裏面に詳しくご記入ください。*宅急便で現金は送付できません。
ヤマト様へ ナマモノにつき2日間ご不在時、発店連絡をお願いします。
(有)香雲堂本店 0284-21-4964
ゴルフ・スキー・空港 クラブ本数

集荷・持込 現取・未取・電子決済・メンバー割・積算カード・回数券

サイズ	80	100	運賃	円
	120	140	料金	円
死店コード	022	220	合計	円

お客様コード 0284214964

クール 冷蔵 冷蔵

取扱店・CVS名

担当者

請求書 依頼主控

指定無し

午前中

14時

16時

18時

19時

21時

取

宅急便の責任限度額は30万円です。また危険品、信書、郵便及び有価証券その他の店頭掲示の品目のお取扱いはできません。なお、その他は宅急便規約に準じます。

請求書

17年 11月

〒 326-0814 栃木県足利市 通4-2570

(有)香雲堂本店
TEL 0284-21-4964

下記の通り御請求申し上げます。

品番	品名	数量	単価	金額
M14	古印最中 1 4 個入	1	1,944	1,944
	運賃			918

毎度お買い上げ有りがとうございます。 合計 2,862

調査研究・研修・広報・広聴・要請・陳情・会議
 活動記録報告書

議員名： 末吉 利啓

日 時	平成 30 年 2 月 1 日～2 日	
場 所	広島県呉市	
相 手 方	呉市役所	
調査目的 結果等	「医療費適正化に向けた取り組み」「小中一貫教育」の視察 結果 → 今後の議会活動の参考になった	
使途項目 (該当項目に○) ・調査研究費 ・研修費 ・広報費 ・広聴費 ・要請・陳情費 ・会議費 上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等	金 額
	JR・私鉄	42440 円
	バス・タクシー	円
	有料道路料金・燃料費	円
	宿 泊 料	7700 円
	研修負担金	円
	そ の 他	570 円
	合 計	50710 円
【領収書添付枠】 ※市外で行われる会議や研修の開催通知を添付 ※市外への視察行程表及び視察報告書等を添付		

●視察旅費（1人当たり）

[H30. 2. 1～2. 2（広島県呉市）]

（単位：円）

摘 要	金 額	備 考	
交 通 費	42,440	[2/ 1] JR指定席 やまびこ208号	@2,370
		JR指定席 のぞみ23号	@7,220
		[2/ 2] JR指定席 のぞみ34号	@7,420
		JR自由席 なすの267号	@2,050
		[2/1～2] JR乗車券 足利-呉 間	@22,740
[2/ 1] JR乗車券 広島-呉 間	@320		
[2/ 2] JR乗車券 呉-広島 間	@320		
宿 泊 費	7,700	[2/ 1] ホテルクレシオ呉本通り（呉市内） ※朝食付、シングル	@7,700
視察手土産代	270	古印最中 @1,944+ 発送料 @1,026 ÷11名	@270
国内旅行保険	300	2日間	@300
合 計	50,710		

お預かり金額 50,710円

上記金額を、1月22日（月）まで に議会事務局へご持参ください。

ジェイアイ傷害火災保険株式会社
 国内旅行保険 加入者証 (団体用)
 当社は下記の内容に基づき次のとおり加入者証を交付します。
 契約者 (カ) JTBカントウ
 加入依頼者: アシカガミライクラブ オホワラヒリオ様

団体人数: 10名

加入者証番号: E404642056		POLICY: EA00002677	
		保険料	¥3,000
保険期間: 2018年02月01日から2018年02月02日まで		2日間	タイプ: AH
補償項目および1名あたりの保険金額: 明細券のとおり		発券枚数2枚	
国内旅行傷害保険特約付帯 その他の特約は、明細券およびご契約のしおりにてご確認ください。			
契約-領収-発行日 18-01-24	代理店名: JTB関東 1429 両毛支店	2JKOL9-01001	



* 保険約款については別紙をご参照ください。
 * 加入依頼者住所は加入依頼書記載のとおり。

1324 0010035

ジェイアイ傷害火災保険株式会社
 国内旅行保険 明細券 (団体用)

POLICY: EA00002677
 加入者証番号: E404642056

補償項目

傷害死亡・後遺障害****537万円

傷害入院保険金日額***3,000円
 傷害通院保険金日額***2,000円

個人賠償責任*****500万円
 携行品損害*****5万円
 救済者費用*****50万円
 臨時費用*****60万円

契約-領収-発行日
18-01-24

代理店名: JTB関東
1429 両毛支店

2JKOL9-01002



1324 0010036

保険

$$¥3,000 \div 10人 = \frac{(1人)}{300円}$$

領 収 証

株式会社 JTB関東



No 03005472388-10-71
 2018年 1月 24日

末吉 利啓 様
 下記の金額正に領収いたしました

¥50,140 ※

但し 2月 1日 ご旅行代金として

ご入金
内 訳

2018/01/24 現 金 ¥50,140



出納責任者 [Redacted] 両毛支店

取扱者 [Redacted] 0264-70-0101

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

Ⓢ3012013

Q 022252
 お客様用

領 収 證 No. _____

足利市議会事務局 様

¥ 2970 -

上記金額正に領収致しました

H30年 1月 29日

中餅氏子
煎菓
印菓
古菓
錫菓

香 雲 堂 本 店

本店 足利市通4丁目2370番地
電話 0284(21)4964
八幡店 足利市八幡町1丁目2番地
電話 0284(76)0525



視察先手土産代 (古印菓中)

$$¥2,970 \div 11人 = \underline{\underline{270}}^{\text{(1人)}}$$

(古印菓中 1,944^円 + 送料 1,026^円)



納入通知書兼領収証書 ㊦

一般会計-80-30-25-25

平成30年 3月 6日 発行

326-0331 (7277288)
足利市福富町2019-2

末吉利啓 様

年度	所 属	調定番号
29	議事課	076123-0003
会 計 一般会計 款 諸収入 項 雑入 目 雑入 節 雑入 細節 コピーサービス代		
内 容 コピーサービス代		
金 額		3,360 円
納期限 平成30年 3月27日		
上記のとおり納めてください。 足利市長 和泉 聡 		
足利市役所 納各公民館(織姫・助戸公民館を除く) 足利銀行・みずほ銀行 付群馬銀行・東和銀行 栃木銀行・桐生信用金庫 場足利小山信用金庫・商工組合中央金庫 中央労働金庫・足利市農業協同組合 所 関東各都県及び山梨県のゆうちょ銀行・ 郵便局(納期限内に限る)		上記のとおり 領収しました。 

(納入者保管) 栃木県足利市

口座番号	00320-1-960022
加入者名	足利市会計管理者

広報・広聴 **市政報告**・会議 開催記録報告書

議員名：末吉利啓

会 議 名	末吉としひろ市政報告会		
日 時	平成 29 年 5 月 12 日		
場 所	梁田公民館		
参加者(団体)名	末吉利啓		
参加人数	約 85 名		
上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等		金 額
	会場・機材費		1780 円
	報告書・資料印刷代		円
	講師謝礼		円
	茶菓子代		6777 円
	送 料		円
	その他		円
	合 計		8557 円
【領収書添付枠】 別紙参照			

梁田公民館使用許可書兼領収書

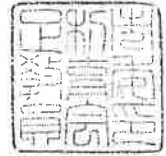
団体名

申請者 住所 足利市福富町1605-3-E

代表者名 末吉 利啓 様

(個人名)

足利市教育委員会



予約番号	2016023166	登録番号	00011069
使用 責任者	住所	足利市福富町1605-3-E	
	氏名	末吉 利啓	電話番号
事業名	市政報告会		

使用施設	使用日	使用人数	使用目的	施設使用料
	使用時間			冷暖房料
会議室	平成29年 5月12日(金)	0人		¥810
	18:00~22:00			---
和室	平成29年 5月12日(金)	0人		¥972
	18:00~22:00			---

備考

施設使用料 減免	施設使用料	減免額	減免後施設 使用料	冷暖房料減 免	冷暖房料	減免額	減免後冷暖 房料	納付額
無	¥1,782	---	¥1,782	無	---	---	---	¥1,780

許可日	平成29年 5月22日(月)
許可番号	第 361 号

上記使用料を領収しました。



施設の使用又は入場については、係員の指示に従ってください。

市政報告会 (H29.5.12)

2017年05月11日 (木)

領収書 市政報告会
末吉としの 様

¥6,777-

(消費税等 50.2円を含みます)

但U212(+)
上記金額 領収致しました
株式会社カワチ薬品 本社 栃木県小山市卒島1293
お買上店名 足利南店 TEL:0284-72-8538
財布等で保管戴く場合は、印刷面を内側に折って保管願います。
(★印はセルフメディケーション税制対象商品)

担当者
有田 勇希

0004-8985-2093

* 領収書明細 *
2017年05月11日(木)11:13 ｼﾞ"0004

賣: 有田 勇希

緑茶280ml x 12本入
9コ X 単753 ¥6,777
合計 ¥6,777
(内税 9点) ¥502
(内税 (税合計) ¥502)
お買上点数 9点
店No00104
ｼﾞ-NNo2093

領収書

毎度ありがとうございます

末吉としろ事務所様

[別納引受]		
区内特別基 (定)	16.5g	
@72 438通	¥31,536	
小計	¥31,536	
第一種定形	16.5g	
@82 207通	¥16,974	
小計	¥16,974	
郵便物引受合計通数	645通	
課税計	¥48,510	
(内消費税等)	¥3,593	
非課税計	¥0	
△計	¥48,510	
合計	¥50,510	
お預り金額	¥50,510	
おつり	¥2,000	

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

市政レポート4号



〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
取扱日時：2017年 9月25日 14:12
担当：山田 清
発行No. 170925A7890 端N60箱01
連絡先：足利助戸郵便局
TEL:0284-41-7253

郵便局からのお知らせ

ご注意
ください!

「レターパックなどで現金送れ」は
全て詐欺です。
レターパックで現金を送ることは郵便法違反です。

送り状 兼代引金額領収書		発送日 : 17年09月04日
お問い合わせNo. : 5184-B060-3745 個数 : 2		
〒326-0331 栃080 栃木県足利市福富町1605-3コウ ジイコートE 末吉 利啓	代引金額 (消費税含) ¥23,250	80 サイズ
様	消費税等 ¥1,722	100 サイズ
上記代金を領収致しました。 領収日 年 月 日	実決済種別 <input type="checkbox"/> 飛脚宅配便	140 サイズ
〒326-0331 栃080 栃木県足利市福富町1605-3コウ ジイコートE 末吉 利啓	佐川急便問合 TEL:0771-25-7510	税金 印紙 付につき下京 税務署承認済
品名・荷姿 【印刷物】 市政レポート4 4000部 【ヨビ同封】 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	集配代行番 (佐川急便)	集金伝行者印 佐川782 29.9.6
領収書発行番 (佐川ファイナンス)	東京都江東区新砂1-8-10	クレジットローン等のお 支払いにはお断り下さい
集配代行番 (佐川急便)	京都府南丹郡三好町18番地	



第4回 末吉としむろ市政報告会

活動報告
小中学生全国大会出場者壮行会
第4回市政報告会
定例会
アシカガ+ミライ茶論

末吉としむろ市政報告会
市長 末吉としむろ

スエヨシレポート

定例会 市政報告会 フォロースター [末吉としむろ市政レポート]

vol. 4
2017年3月16日

活動報告
小中学生全国大会出場者壮行会
第4回市政報告会
定例会 フォロースター
シリーズ市議会議員

平成29年3月議会一般質問
「JTB路線の新駅構想と沿道対策」
「道の駅利用の活用とホスピタリティ&魅力アップ」

平成29年6月議会一般質問
小中スポーツの推進体制
公共施設交差点の安全対策
まちづくりと観光振興の推進

活動報告

新たな委員に就任

小中学生全国大会出場者壮行会再開

実現

平成29年3月議会一般質問 (平成29年3月8日)

1. 農業分野の振興策について

2. 道の駅利用の活用とホスピタリティ&魅力アップ

3. 道の駅利用の活用とホスピタリティ&魅力アップ

4. 道の駅利用の活用とホスピタリティ&魅力アップ

平成29年6月議会一般質問 (平成29年6月19日)

1. 小中スポーツの推進体制

2. 公共施設交差点の安全対策

3. 道の駅利用の活用とホスピタリティ&魅力アップ

4. 道の駅利用の活用とホスピタリティ&魅力アップ

選挙応援に関する記載 (5.9cm×4.5cm=26.55 cm²)

1247.4 cm² (片面全体の面積 A3) × 2 面 = 2494.8 cm²

26.55 cm² (選挙応援に関する記載) ÷ 2494.8 cm² (両面全体の面積) = 0.0106

→ 政務活動対象外割合=1%

印刷代 23,250 円 - 232.5 円 (対象外 1%分) = 23,017.5 円

広報・広聴 **市政報告** 会議 開催記録報告書

議員名：末吉利啓

会議名	末吉としひろ市政報告会		
日時	平成 29 年 11 月 29 日		
場所	足利市民プラザ 301 号室		
参加者(団体)名	末吉利啓		
参加人数	約 62 名		
上記活動に 要した経費	経費の内容・積算基礎等		金額
	会場・機材費		9720 円
	報告書・資料印刷代		円
	講師謝礼		円
	茶菓子代		4078 円
	送料		円
	その他		円
	合計		13798 円
<p>【領収書添付枠】 別紙参照 ※404 号室は控室兼キッズスペースとして使用 ※茶菓子代は緑茶ペットボトル 108 本を 6,777 円で購入。 → 来場者＋弁士等で 65 本使用 【単価】 6,777 円÷108 本=62.75 円 【適用額】 62.75 円×65 本=4,078.75 円</p>			

足利市民プラザ使用許可書兼領収書

団体名

申請者 住 所 足利市福富町1605-3-E

代表者 末吉 利啓 様

(氏名)

足利市民プラザ指定管理者

住所 足利市大橋町1-2007-3

団体名 公益財団法人足利市

みどりと文化・スポーツ財団

代表者 理事長



予約番号	2017009579	登録番号	00011069
使用 責任者	住所	足利市福富町1605-3-E	
	氏名	末吉 利啓	電話番号
催物名	末吉利啓市政報告会		

使用施設	使用日	使用人数	使用目的	割増区分	1時間割増	使用料金
	使用時間					
301号室	平成29年11月29日(水)	50人	会議		---	¥6,480
	18:00~22:00					
404号室	平成29年11月29日(水)	10人	控室		---	¥1,620
	18:00~22:00					
備考						

入場料金額	圏外割増	使用料減免	1時間割増	施設使用料	合計使用料	減免額	納付額
---	無	無	---	¥8,100	¥8,100	---	¥8,100

許可日	平成29年10月11日(水)
許可番号	第 648 号

上記使用料を領収しました。

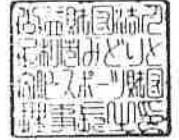


施設の使用又は入場については、係員の指示に従ってください。

足利市民プラザ器具等使用許可書兼領収書

団体名
 申請者 住所 足利市福富町1605-3-E
 代表者 末吉 利啓

足利市民プラザ指定管理者
 住所 足利市大橋町1-2007-3
 団体名 公益財団法人足利市
 みどりと文化・スポーツ財団
 代表者 理事長



予約番号	2017009579	登録番号	00011069
使用 責任者	住所	足利市福富町1605-3-E	
	氏名	末吉 利啓	電話番号
催物名	末吉利啓市政報告会		
使用日	平成29年11月29日(水) 301号室		

番号	品名	数量	回数	使用料	番号	品名	数量	回数	使用料
1	プロジェクターB	1	1	¥1,620	37				
2					38				
3					39				
4					40				
5					41				
6					42				
7					43				
8					44				
9					45				
10					46				
11					47				
12					48				
13					49				
14					50				
15					51				
16					52				
17					53				
18					54				
19					55				
20					56				
21					57				
22					58				
23					59				
24					60				
25					61				
26					62				
27					63				
28					64				
29					65				
30					66				
31					67				
32					68				
33					69				
34					70				
35					71				
36					72				

備考					
使用料減免	合計使用料	減免額	納付額	許可日	平成29年11月29日(水)
無	¥1,620		¥1,620	許可番号	第 648 号



上記使用料を領収しました。

施設の使用又は入場については、係員の指示に従ってください。

2017年11月28日 (火)

領 収 書

¥ 6, 7 7 7 -

(消費税等 502円を含みます)

但し 上記金額を領収致しました
 株式会社 カワチ薬品 本社 栃木県小山市卒島1293
 お買上店名 足利西店は、印刷面を内側に折って保管願います。
 財布等で保管戴く場合は、印刷面を内側に折って保管願います。
 (★印はセルフメイケーション税制対象商品)

担当者

0002-9257-6050

4018.7円 ←
 * 領収書番号 *
 2017年11月28日 (火) 15:51 ｼﾞｼﾞ0002

賈：清水 和美 65本使用
 緑茶280ml × 12本入
 9コX単753 ¥6,777
 合計 ¥6,777
 (内税) ¥502
 (内税) ¥502
 (税合計) ¥502
 お買上点数 9点
 ｼﾞｼﾞNo6050 店No00172

4月分なし
本人了解

朝日新聞
DIGITAL

■お客様サポート

購読証明書

2017年04月08日

朝日新聞デジタルの2017年06月分は下記のとおりご利用いただきました。

末吉 利隠様	2017年06月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

・ダブルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
株式会社 朝日新聞社

朝日新聞
DIGITAL

■お客様サポート

購読証明書

2018年04月08日

朝日新聞デジタルの2017年06月分は下記のとおりご利用いただきました。

末吉 利隠様	2017年06月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

・ダブルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
株式会社 朝日新聞社

朝日新聞
DIGITAL

■お客様サポート

購読証明書

2018年04月08日

朝日新聞デジタルの2017年07月分は下記のとおりご利用いただきました。

末吉 利隠様	2017年07月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

・ダブルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
株式会社 朝日新聞社

朝日新聞
DIGITAL

■お客様サポート

購読証明書

2018年04月08日

朝日新聞デジタルの2017年08月分は下記のとおりご利用いただきました。

末吉 利隠様	2017年08月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

・ダブルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
株式会社 朝日新聞社

朝日新聞
DIGITAL

■お客様サポート

購読証明書

2018年04月08日

朝日新聞デジタルの2017年09月分は下記のとおりご利用いただきました。

末吉 利隠様	2017年09月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

・ダブルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
株式会社 朝日新聞社

朝日新聞
DIGITAL

■お客様サポート

購読証明書

2018年04月08日

朝日新聞デジタルの2017年10月分は下記のとおりご利用いただきました。

末吉 利隠様	2017年10月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

・ダブルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
株式会社 朝日新聞社

朝日新聞
DIGITAL

■お客様サポート

購読証明書

2018年04月08日

朝日新聞デジタルの2017年11月分は下記のとおりご利用いただきました。

末吉 利隠様	2017年11月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

・ダブルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
株式会社 朝日新聞社

■朝日新聞デジタル (H29 年度)②

朝日新聞
DIGITAL

お客様サポート

購読証明書

2018年04月08日

朝日新聞デジタルの2017年12月分は下記のとおり、ご利用いただきました。

未吉 利権様	2017年12月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

• デジタルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地-3-2
株式会社 朝日新聞社

朝日新聞
DIGITAL

お客様サポート

購読証明書

2018年04月08日

朝日新聞デジタルの2018年01月分は下記のとおり、ご利用いただきました。

未吉 利権様	2018年01月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

• デジタルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地-3-2
株式会社 朝日新聞社

朝日新聞
DIGITAL

お客様サポート

購読証明書

2018年04月08日

朝日新聞デジタルの2018年02月分は下記のとおり、ご利用いただきました。

未吉 利権様	2018年02月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

• デジタルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地-3-2
株式会社 朝日新聞社

朝日新聞
DIGITAL

お客様サポート

購読証明書

2018年04月08日

朝日新聞デジタルの2018年03月分は下記のとおり、ご利用いただきました。

未吉 利権様	2018年03月分
料金コース デジタルコース(国内在住の方)	3,800円
内消費税	(281円)
合計	3,800円

• デジタルコースのお客様の場合、ご利用金額には、朝日新聞(宅配)の購読料金は含まれていません。

〒104-8011 東京都中央区築地-3-2
株式会社 朝日新聞社

領収証 平成 29 年 4 月分

末吉 利啓 様

1,500 円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成 29 年 5 月分

末吉 利啓 様

1,500 円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成 29 年 6 月分

末吉 利啓 様

1,500 円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成 29 年 7 月分

末吉 利啓 様

1,500 円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成 29 年 8 月分

末吉 利啓 様

1,500 円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成 29 年 9 月分

末吉 利啓 様

1,500 円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成29年10月分

末吉 利啓 様

1,500円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成29年11月分

末吉 利啓 様

1,500円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成29年12月分

末吉 利啓 様

1,500円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成30年1月分

末吉 利啓 様

1,500円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成30年2月分

末吉 利啓 様

1,500円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

領収証 平成30年3月分

末吉 利啓 様

1,500円 (消費税を含みます)

上記金額を領収いたしました。ご購入ありがとうございます。

両毛新聞社

販売部責任者 近藤 孝政

〒326-0805 栃木県足利市巴町 2543

Tel 0284-21-1366(代) Fax 0284-21-6065

取扱者



取扱者印の無いもの及び金額を訂正したものは無効です。

下野新聞購読契約書 28年1月3日

(お客様控) 下記の通り購読契約をします。

お申し込み
契約期間 28年11月から12か月間 (部)

28年	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
29年	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	7月	8月	9月	10月	11月	12月

配達開始年月日 平成 年 月 日 配達日購読期間の毎日(休刊日を除く)
お支払方法 毎月(上・中・下旬)(集金・持参・振込)
3,035円(本体価格2,810円+消費税225円)

〒
おところ 足利市福富町1605-3 E

お電話 0284(22) 3884

ご契約者直筆
お名前 末吉利啓 様 ㊞

販売店名 産経新聞中央専売所
所在地 足利市通4丁目2565
TEL TEL(0284)21-0605
本契約取扱者名 [Redacted]

※裏面の内容をご確認いただきご契約下さい。

下野新聞購読契約書 29年10月2日

(お客様控) 下記の通り購読契約をします。

お申し込み
契約期間 29年10月から12か月間 (1部)

29年	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
30年	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	7月	8月	9月	10月	11月	12月

配達開始年月日 平成 年 月 日 配達日購読期間の毎日(休刊日を除く)
お支払方法 毎月(上・中・下旬)(集金・持参・振込)
3,035円(本体価格2,810円+消費税225円)

〒
おところ 足利市福富町1605-3 E

お電話 0284(22) 3884

ご契約者直筆
お名前 末吉利啓 様 ㊞

販売店名 産経新聞中央専売所
所在地 足利市通4丁目2565
TEL TEL(0284)21-0605
本契約取扱者名 [Redacted]

※裏面の内容をご確認いただきご契約下さい。

普通預金(兼お借入明細) 6

年月日	お支払金額(借入)	お借り金額(返済)	残高
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14	29- 4-26	*3-035/JCB)ｼﾝﾌﾟﾙﾀﾞｲ	*142-926
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			

※この手帳の記載事項によるお借入の返済は、お借入の元金と元金利息の合計額を、日本信託銀行(株)から「お支払日(〃〃〃)」に返済いたします。
なお、お支払の滞りは、お借入の返済滞りとなり、お借入の利率に引き上げがあります。
詳細は、お借入の借入書をご覧ください。

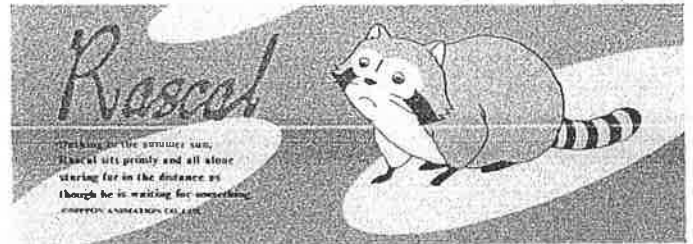
普通預金(兼お借入明細) 8

年月日	お支払金額(借入)	お借り金額(返済)	残高
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15	29- 7-26	*3-035/JCB)ｼﾝﾌﾟﾙﾀﾞｲ	*111-062
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			

※この手帳の記載事項によるお借入の返済は、お借入の元金と元金利息の合計額を、日本信託銀行(株)から「お支払日(〃〃〃)」に返済いたします。
なお、お支払の滞りは、お借入の返済滞りとなり、お借入の利率に引き上げがあります。
詳細は、お借入の借入書をご覧ください。

総合口座通帳

東吉 裕裕 様



普通預金(兼お借入明細) 7

年月日	お支払金額(借入)	お借り金額(返済)	残高
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7	29- 5-26	*3-035/JCB)ｼﾝﾌﾟﾙﾀﾞｲ	*146-203
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24	29- 6-26	*3-035/JCB)ｼﾝﾌﾟﾙﾀﾞｲ	*126-838

※この手帳の記載事項によるお借入の返済は、お借入の元金と元金利息の合計額を、日本信託銀行(株)から「お支払日(〃〃〃)」に返済いたします。
なお、お支払の滞りは、お借入の返済滞りとなり、お借入の利率に引き上げがあります。
詳細は、お借入の借入書をご覧ください。

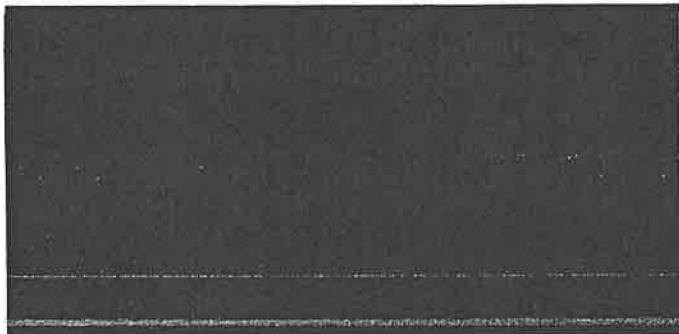
普通預金(兼お借入明細) 1

年月日	お支払金額(借入)	お借り金額(返済)	残高
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8	29- 8-28	*3-035/JCB)ｼﾝﾌﾟﾙﾀﾞｲ	*135-413
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22	29- 9-26	*3-035/JCB)ｼﾝﾌﾟﾙﾀﾞｲ	*162-360
23			
24			

※この手帳の記載事項によるお借入の返済は、お借入の元金と元金利息の合計額を、日本信託銀行(株)から「お支払日(〃〃〃)」に返済いたします。
なお、お支払の滞りは、お借入の返済滞りとなり、お借入の利率に引き上げがあります。
詳細は、お借入の借入書をご覧ください。

■下野新聞口座引き落とし (H29年度)②

普通預金(兼お借入明細)



13/29-10-26 *3-035 JCB)ｼﾝｸﾞﾙﾀﾞｲ / *156,218



※小切手の振替額によるご入金の場合は、そのお振込みが完了する翌の月一日をお振込金額(振込)欄に「お振込み済/ATM」と表示いたします。
 なお、お振込みの時刻は、本紙掲載時刻の経過後となります。小切手等の振替によるご振込みの時刻は、窓口へお振込みください。

普通預金(兼お借入明細)



14/29-11-27 *3-035 JCB)ｼﾝｸﾞﾙﾀﾞｲ / *152,338

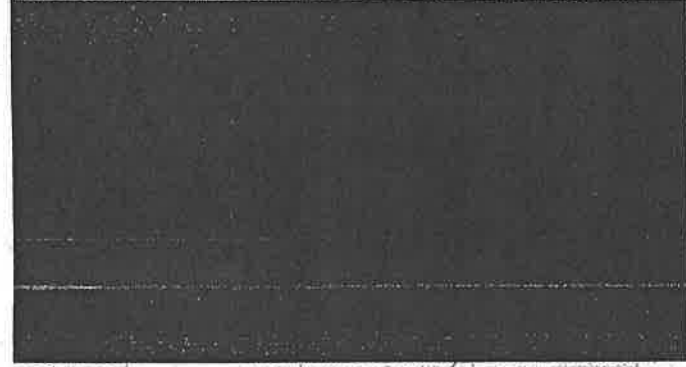


※小切手の振替額によるご入金の場合は、そのお振込みが完了する翌の月一日をお振込金額(振込)欄に「お振込み済/ATM」と表示いたします。
 なお、お振込みの時刻は、本紙掲載時刻の経過後となります。小切手等の振替によるご振込みの時刻は、窓口へお振込みください。

普通預金(兼お借入明細)



17/29-12-26 *3-035 JCB)ｼﾝｸﾞﾙﾀﾞｲ / *179,461



21/30- 1-26 *3-035 JCB)ｼﾝｸﾞﾙﾀﾞｲ / *58,653

※小切手の振替額によるご入金の場合は、そのお振込みが完了する翌の月一日をお振込金額(振込)欄に「お振込み済/ATM」と表示いたします。
 なお、お振込みの時刻は、本紙掲載時刻の経過後となります。小切手等の振替によるご振込みの時刻は、窓口へお振込みください。

普通預金(兼お借入明細)



10/30- 2-26 *3-035 JCB)ｼﾝｸﾞﾙﾀﾞｲ / *126,997



※小切手の振替額によるご入金の場合は、そのお振込みが完了する翌の月一日をお振込金額(振込)欄に「お振込み済/ATM」と表示いたします。
 なお、お振込みの時刻は、本紙掲載時刻の経過後となります。小切手等の振替によるご振込みの時刻は、窓口へお振込みください。

普通預金(兼お借入明細)



7/30- 3-26 *3-035 JCB)ｼﾝｸﾞﾙﾀﾞｲ / *1,216



研修報告書

(平成 29 年 5 月 9 日～11 日／徳島県三好市、高知県中土佐町、広島県安芸高田市)

議員名： 末吉 利啓

研 修 報 告

■徳島県三好市 『外国人観光誘客施策について』

徳島県三好市で「外国人観光誘客施策」について、三好市役所にて座学でお話をうかがいました。足利市は外国人観光客がフラワーパークを筆頭に増加傾向にあります。しかしながら市内に宿泊したり、歴史文化を楽しんだりというところまでにはいたっておりません。今回の三好市の事例は中山間区域が多く、古民家や空き家の多い足利においても十分に参考になると考えます。

三好市中央部にある東祖谷の落合という集落は中山間部の斜面にひらかれた小規模な集落ですが、そこに毎年多くの外国人が訪れています。江戸時代の母屋が多く残る落合は、平成 17 年に重要伝統的建造物群保存地区指定されましたが、空き家の多さが問題となっていました。アメリカの著名な東京文化研究者のアレックス・カー氏が落合集落に魅せられ、昭和 46 年に一軒の古民家を購入し「籠庵」と名付けます。この籠庵（のちに NPO 化）がこの集落の活性化の拠点となっていきます。重伝建指定や海外メディアで取り上げられたことなどにより注目を集め、空き家となっていた古民家を次々と修復しゲストハウス等に再生させていきます。それらはアレックス・カー氏のプロデュースによりブランド化され、地域の企業を圧迫しない高価格帯で事業を開始しました。香港や欧米の比較的高所得者から多くの宿泊者を集めました。課題となっていた焼失の危機にあった貴重な文化財や集落の景観を、高い付加価値を付けた宿泊施設として再生することで守り、更には地域の雇用を生み収入機会を増やすことにより活性化に結び付けた事例です。

足利市にも維持ができずに空き家となり廃墟化している古民家が沢山ありますが、最近では再生の動きも出ています。アレックス・カー氏のゲストハウスのような高価格帯のゲストハウスといった観光客の選択肢を増やす宿泊施設整備も検討の必要があると考えました。

■高知県中土佐町 『地場産振興による雇用創出の取り組みについて』

高知県中土佐町「地場産振興による雇用創出の取り組みについて」、町役場においてお話をうかがいました。中土佐町は高知県の太平洋岸の人口 7200 人のまちです。カツオをはじめとした水産業が盛んです。

まずは「道の駅なかとさ」について企画課の方にはうかがいました。平成 29 年 7 月開業予定でテーマは「SEA (買う・食べる・遊ぶ)」。第三セクターが指定管理者となり、2 億 5000 万の年間売上目標を目指すとのことでした。

次に水産・観光について水産商工課の方にかがいました。同町では30年前から鰹でまちおこしをおこなっていて、最近では鰹乃国水産によるスラリーアイス冷凍の鰹が人気です。また貴重となった手長エビの養殖や、天然塩の生産も進められています。

最期に農林について農林課の方にかがいました。稲作、畜産に加え、生姜、ミョウガ、ニラ、インゲン、シシトウなどの園芸も盛んになってきたとのこと。最近では高知県立大学と連携した農業振興策も進められています。

さて雇用についてですが、農林や水産では小規模な雇用にとどまっています。道の駅は新たに30人程度の雇用を見込んでいます。大規模な雇用が見込めない地方においてはこういった新規雇用が生まれることは大変貴重です。しかもそれが新たな地域の特産品によるものと、地域への誇りや愛着にもつながることが期待されます。

■広島県安芸高田市『地域人材育成コンソーシアム事業について』

広島県安芸高田市で「地域人材育成コンソーシアム事業について」安芸高田市役所商工観光課、NPO法人キャリアプロジェクト広島の方にかがいました。「地域人材育成コンソーシアム事業」は地元企業で働く環境をより充実するための取り組みです。安芸高田市を一つの会社と考え、「あきたかたコンソ」登録企業がそれぞれの事業部、「あきたかたコンソ」コーディネーターが人事部として、地域人材の育成を強化します。「あきたかたコンソ」はNPO法人キャリアプロジェクト広島が運営しています。ちなみにキャリアプロジェクト広島は経済産業省の事業で平成24年に立ち上げられました。

安芸高田市の中小企業が抱えている人材育成力の不足や、定着率の低さなどの諸課題と、就職に苦労していた求職者の課題を同時に解消するための調査をおこない、マッチングもおこなってきました。また企業間で人材育成のために人材ローテーションを行ったり、高校生向け合同企業説明会や高校生のキャリア育成事業を行ったりしています。

人材不足で企業が廃業に追い込まれる時代を迎える前に、地域の人材が地域の企業の魅力を知り働いてもらえる環境を作れる事業だと感じました。試験的な事業もあり課題もありますが、人材流出を抱える足利でも検討の余地があるのではないのでしょうか。

研修報告書 (平成 29 年 7 月 6 日～7 日 / 新潟県新潟市)

議員名： 末吉 利啓

研 修 報 告

■新潟県新潟市『学校図書館支援センター』について

新潟市中央図書館ほんぽーとで『学校図書館支援センター』について伺いました。新潟市は人口 81 万の巨大都市です。そんな新潟市の教育ビジョンの重点施策に読書推進があります。更に平成 22 年に策定された「子どもの読書推進計画」の 4 本柱に「学校図書館支援センターによる支援」が明記されています。新潟市は合併前から市内小中学校に司書が配置されていました。平成 18 年には合併後された旧自治体すべての学校にも司書を配置しました。その体制のもとセンターが学校訪問や相談対応を行い、学校図書館の運営を支援しています。平成 28 年実績で学校訪問が 309 回、相談対応が 1359 回に上ります。また、新任学校司書への研修や現職の学校司書への研修も行っています。

これらの支援により、小学校児童ひとり当りの年間貸出数は平成 17 年 61 冊から平成 27 年 109 冊と大幅に向上しています。

本市においても昨年ようやく「子どもの読書推進計画」が策定されました。先進的な新潟市の事例を参考に、本市の現状に合わせた学校司書の支援体制を構築すべきだとあらためて感じました。

■新潟県新潟市『ミズベリング信濃川やすらぎ堤事業』について

新潟県新潟市の『ミズベリング信濃川やすらぎ堤事業』について、都市政策部まちづくり推進課の方にお話を伺いました。

そもそも、今回の視察は以下の理由から会派の皆さんにご提言した経緯があります。

- (1)足利市にも渡良瀬川という水辺資源がある
- (2)渡良瀬川はイベントやスポーツに使われているが更なる活用が見込まれる
- (3)比較的近隣で注目を集めている自治体事例がある

さて、この「ミズベリング」という言葉はなかなか聞きなれないと思います。河川管理に関する規制が緩和されるなか、かつて舟運や水遊び、釣りなどで賑わっていた水辺にもう一度賑わいを取り戻そうというプロジェクトです。全国の自治体に波及し様々な試みがなされています。

■ミズベリングサイト → <https://mizbering.jp/>

今回の新潟市は H28 年の試行期間からはじまり、現在は定着期間にあります。大前提となる国の「都市・地域再生等利用区域」の指定を H28 年 2 月に受け、国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所とともに整備を進めてきました。事前に進めてきた傾斜の緩い 5 割勾配の堤防に加え、堤防の天端を広くして歩道や緑地帯を設けてきました。そこに期間限定で企業に出店してもらい、来場者に水辺で飲食をしてもらい賑わいを生み出しています。

H28 年の試行期間では 7~9 月の 3 カ月で延べ 30,000 人の利用者が集まり、売上も延べ 7400 万円に上りました。また、水辺の歩行者・自転車も前年の約 3 倍に増加しました。反響が良好で、3 年で回収しようとした初期投資をこの 1 年で回収できたそうです。しかしながら、水辺の景観が損なわれた、ゴミの管理ができていない、BGM などの騒音、ジョギングなどの利用が困難になど、様々な苦情や課題も噴出しました。

そこで H29 年からはエリア一帯をマネジメントできる企業・団体を募集することとなりました。プロポーザルで募集したところ、新潟県内の国際的アウトドアメーカー「株式会社スノーピーク」と契約を締結することになりました。実際に現場を見てみると、国際的なメーカーならではのデザイン性の高さ、アウトドアを楽しむ工夫、出展店舗の設えの統一性などがしっかりとマネジメントされていました。当日は夜の賑わいを把握するため夜間まで滞在しましたが、仕事帰りのサラリーマンや学生、ジョギングや散歩をする人などが途切れることなくやすらぎ堤を訪れていました。また、夜は萬代橋や街並みなどの夜景と、ミズベリングエリアのテントや各店舗の照明などがマッチしていて魅力的な夜景資源を作り出していました。

また、当エリアでは『光のネックレス事業』という更なるライトアップ事業を行う予定だそうです。先日の一般質問でも提言した渡良瀬橋のライトアップの参考になると考えますので、今後とも注目したいと思います。

さて、足利市には東西に渡良瀬川が流れています。「まちを分断」しているとマイナスの面で語られることもありますが、渡良瀬川は足利の豊かな自然と神社仏閣などの歴史遺産が調和した美しい景観の重要な要素です。渡良瀬川の緑地は野球場、サッカー場、公園などが整備され有効に使われています。しかし JR 足利駅と東武足利市駅に挟まれた田中橋、中橋、渡良瀬橋の中心市街地エリアはイベント以外では人影もまばらで、そのポテンシャルが生かされていません。今後、今回の新潟市の視察を踏まえ更なる水辺の活用を調査研究し提言していきたいと思います。

研修報告書 (平成 29 年 5 月 18 - 19 日 / 東京都千代田区)

議員名： 末吉 利啓

研 修 報 告

時間の都合ですべてを聴くことはできませんでしたが、それぞれについて報告と感想を述べさせていただきます。

■「人口減に挑む」吉川洋氏 (立正大学)

経済学者の視点から日本の人口減少についてお話しいただきました。人口減少の要因として出生率の低下、有配偶率の低下を指摘し、この状況で人口を増やすためには出生率を 6.0 にしなければいけないという衝撃的な指摘がありました。また、その背景として非正規雇用の増加をあげられました。現状の約 40% の非正規雇用の高さが大きなインパクトとなっています。そのなかでも結婚している女性の出生率は下がっていないが、未婚女性の比率が上昇しているという本質的な指摘もしていました。また、格差が広がっている状況において「日本人はヨーロッパ型の社会保障を望んでいるが十分な税金を払っていない」といった重要な指摘もありました。

■「人口減少社会における地域づくりの展望」牧慎太郎氏 (総務省)

元自治相で今は総務省で地域力創造アドバイザーをされている牧氏のお話をうかがいました。人口問題の本質として「人口の年齢構成と地域バランスが悪いことが問題」と指摘しています。高齢化率が 2065 年には 38.4% まで増加し、あわせて若年人口比率が減少していくこと。そして東京への一極集中が止まらないことによりすべてにおいてバランスを崩しているとの内容でした。その対策として目標を「人口の総数ではなく持続可能な出生数」にすべきとのご意見でした。小学校を基準に教育環境、防災、コミュニティなどから見た持続可能な数字を見出すことが重要だとの具体的な指摘もありました。

■「自治体改革の実現力」元吉由紀子氏 (自治体改善マネジメント研究会)

自治体改革と実現力、ふたつのキーワードをもとにこれから私たち議員や市民、職員にもとめられる能力や知識などについてお話をうかがいました。印象的だった指摘を羅列しておきます。

「何のために、何を目指すのか。役所の目指す姿が総合計画などに定められていないケースがある。」「受け身の計画策定で主体性がない。」「次世代の自治体には計画の達成度を見てそれを見直す能力が必用。」

特に「受け身の計画策定で主体性がない。」との指摘については同感でした。総合計画をはじめ各種計画やマスタープランは主体性がなく、どこの自治体を見ても同じ

ような文言が散見されるコースがあります。国からの指示という大義名分に則り、自ら考えることを放棄している節があるように感じました。何のために、何を指すかを深く考え込んでいかなければ、その自治体に合った効果の出る計画はできないと思います。

研修報告書 (平成 29 年 7 月 27 日 / 東京都豊島区)

議員名： 末吉 利啓

研 修 報 告

平成 29 年 7 月より、足利市議会広報委員会副委員長に就任させていただきました。委員としても前期に引き続きの就任ですので、開かれた議会、市民に身近な議会を目指し、今回の研修参加を決めました。

まず、本市の議会広報誌「議会だより」についてですが、市の広報誌「あしかがみ」に比べ認知度は大幅に低い状況にあります。市民に最も身近な政治である市議会を的確に知っていただく機能を十分に発揮できていません。例えば平成 28 年の市民アンケートによると、市広報を読んだことがない人の割合が 2.8%に対し、議会だよりは 13.6%と約 5 倍となっています。私の周りの 20 代 30 代では更に顕著で、その存在すら知らないという市民も少なくありません。

さて、今回の研修のメインテーマは議会広報誌というコンテンツを例に、どのように議会活動を市民に周知し、関心を高め、政治参加を促せるかです。そのための具体的な手法から、議会広報編集の実務的なテクニックまでを総合的に学びました。

午前中は先進自治体等を例に、様々な手法や改革の意義を学びました。例えば SNS をはじめとしたインターネットへのリンクの重要性、スマホ対応の必要性、伸びしろがある若年層への訴求、広報誌を使った議会活性化などです。

午後は広報誌クリニックということで、今回参加した 13 自治体の広報誌を例に様々な角度から長所短所を割り出し、講師の吉村潔先生よりアドバイスがなされました。参考までに本市の広報誌に対しては以下の指摘がありました。

- (1)一般質問のコーナーは段間が取れていてレイアウトは悪くない。
- (2)一般質問と議案の報告書としてしか機能していない。
- (3)議会として特集や提言性を出せるはず。
- (4)予算審査は重要な案件なので今以上にページを割いてもいい。

先進的な自治体の事例を見ていると、本市に比べ議員が積極的に内容を検討し、充実したものとなっている印象を受けました。重要な議案に対する議会としての視点、各常任委員会からの提言、付帯決議等の特集、先駆者や専門家のインタビューや対談、会派の視察報告やメッセージ等。また、デザイン性の高い自治体も多く目につきました。広報である以上、まずは手に取ってもらうことがスタートです。更には読みやすいレイアウトやフォント、興味を惹かれる特集など参考になる事例がたくさんありました。

今後の広報委員会の活動に生かしていきたいと思っております。

研修報告書 (平成 29 年 8 月 16 日～18 日/東京都千代田区・千葉県浦安市)

議員名： 末吉 利啓

研 修 報 告

私が加入している全国若手市議会議員の会並びに、下部組織である関東若手市議会議員の会の研修会に参加して参りました。公務の都合で 2 日目の昼で一旦足利に戻り、3 日目の朝に再度合流しました。

■関東若手市議会議員の会研修会①「これからの時代に求められる地方議員」

こちらは元三重県知事、元衆議院議員で早稲田大学名誉教授の北川正恭氏の講演でした。はじめに、戦後の吉田、岸内閣時代の「価値前提の政治」から、行動成長期の池田、佐藤内閣の「事実前提の政治」の変異を体系的にご教授いただきました。そのうえで私たち若手地方議員が、現状を打破するために「立ち位置を変えろ」「形式要件を揃えることで満足するな」と激励も含めたご指導をいただきました。また、自民党時代に公職選挙法改正や政治資金規正法改正、そして地方分権一括法施工までの様々な議会改革の経緯を、その中心にいた体験談を踏まえてお聞き出来ました。説得力のあるお話しに感嘆するとともに、今までの自らを反省させられる内容でした。私たち若手議員も今以上に覚悟を強く持ち、地方創生を成し遂げていこうとあらためて考えさせられた講演でした。

■関東若手市議会議員の会研修会②「政策立案のための情報収集法」

私たちが把握していなかった様々な情報収集ツールをご教授いただきました。一般質問や議案審査の際に、様々な情報を集めるのに費やしてきた時間を大きく削減できるツールばかりでした。全国地方議会の議事を検索できる「議事ロックス」、同じく地方議会の条例を検索できる「E-GOV」などはすぐに使えるツールです。講師の方が仰っていた「議員が行政とは独立した情報源を持ち、効率的に情報を集め、残った時間を有効に使ってほしい」という言葉には、いろいろと気づかされたところがありました。

■全国若手市議会議員の会研修会③「議員が守るべき政治倫理とは」

地方議会総合研究所の廣瀬和彦所長からの講演でした。腐敗や汚職に直結し、私的な交友で行政を歪めないためにも政治倫理が必要だと冒頭でご指摘がありました。そのうえで昨今の地方議員の政治倫理問題を、例を交えながらご説明がありました。地方自治法をあらためて読み直すことで、あらためて議員に対して法律上、

議会ができること、できないことを整理できたのは大変良かったと感じました。桐生市の例の様に法的に処罰できない議場外の活動で辞職をしたケースも、そういった視点から見るとその重みと責任を考えさせられました。また、パワハラ・セクハラについても留意点、口利き、兼業禁止についても確認させていただきました。同世代議員が全国で不祥事を起こし、地方議会全体の権威を失墜させている昨今。もう一度脇をしめて、政治活動に邁進したいと今回の研修で決意をあらたにしました。

※他にも短時間でしたが、「浦安市の液状化対策」「浦安市の図書館運営」「千葉大学の循環型社会の取り組み」についてもお話がありました。

研修報告書 (平成 29 年 11 月 8 日～10 日 / 沖縄県那覇市)

議員名： 末吉 利啓

研 修 報 告

■第 79 回全国都市問題会議

『多様性のある江戸時代の都市』 東京大学史料編纂所教授 山本博文氏

近現代の日本都市の基礎を築いた江戸時代の都市について、城下町、門前町、港町など各カテゴリー別に具体例を交えてお話しいただきました。都市問題を語るうえで基本的な内容ではありますが、山本教授の具体例を交えながらのお話しにより、説得力を持っておさらいをすることができました。「自分のまちの歴史を学び、もう一度その魅力を知ってほしい」との言葉が印象的でした。

『ひと つなぐ まち —新しい風をつかむまちづくり—』 那覇市長 城間幹子氏

ひととまちがつながることによる魅力創出について、那覇市の様々な事例を報告いただきました。那覇市の現状から、インバウンド増加による活性化などの最近のトピックス、市が進めている各分野の事業などをご紹介いただきました。現在メインで力を入れているハード事業として(1)牧志公設市場整備事業、(2)農連市場地区防災街区整備事業、(3)新文化芸術発信拠点整備事業と、三件もの大規模事業のお話しをお聞きしました。人口 32 万都市といえ財源や、今後の施設やインフラの維持管理負担が気になる場所でもありました。その他、29.9%という子どもの貧困率の高さへの先進的な対策も参考になるものがありました。また、第 5 次総合計画の市民案を那覇市協働大学院から提出している、市民力強化事業も先進的な印象でした。

『人口減少社会の実像と都市自治体の役割—人口とインフラの適正な持続的配置はいかに可能か—』 首都大学東京大学院人文科学研究科准教授 山下祐介氏

山下准教授のお話しは社会学者の視点から、人口減少という課題に対する様々な問題提起や本質を考えさせる内容でした。冒頭の「国家と地方自治体のバランス、人口減少に対して都市がバランスを崩している。」という指摘は重要だと感じました。例えば、人口減少で税収も減少しているにもかかわらず、市民サービスが複雑化し支出が減らないこと。あるいは人口減少を改善しなければいけないのに、合計特殊出生率の低い東京への一極集中が止まらないこと。これらの崩れたバランスを改善することが、今求められていると再認識いたしました。

その他に特に印象に残った指摘をいくつかご紹介します。「第二次ベビーブーム世代が子どもを産めなかった原因は稼げ稼げの改革路線」「選挙のたびに政治家があれもやってやる、これもやってやるで市民の依存感覚を強めている」「仕事や経済を最優先にしたため人やまちを疎かにしてきた」。

人口減少問題をはじめとした地方自治体を取りまく諸課題を考えるうえで、非常に深い本質的なお話を聞くことができました。

『自然と都市が融合し共生が地域の価値を高めるまちづくり』釧路市長 蝦名大也氏

国の観光立国ショーケースに金沢市、長崎市とともに選定された釧路市。どのように選定され、その後国と連携して実施している外国人受け入れモデル都市を目指した様々な事業をお話いただきました。また長期滞在の推進、入湯税超過課税の推進についても説明いただきました。

『新たなステージに入った沖縄観光—複合的な魅力を有するハイブリットリゾートへ—』琉球大学観光産業科学部長 下地芳郎教授

観光客が増加する沖縄県の観光の歴史を振り返り、今後の展望を合わせてお聞きしました。琉球王朝時代の沖縄は中国などの海外とのつながり強く交易も盛んでした。近代、大阪商船による沖縄観光ツアー開発をきっかけに異文化を観る観光が広まりました。沖縄戦により多くの文化施設や文献などが焼失した後は、米軍向けの観光、遺族などの慰霊ツアーを経て、近年のリゾート観光が始まりました。

その後、観光客数は年々増加し H28 年度は〇〇万人に上りました。また、じゃらん「地元の人ホスピタリティを感じた？」という問いに対する回答でも「感じた」と答えた割合が毎年全国1位である事実も、素晴らしいことだと感じました。更に様々な事業を展開しホスピタリティアップに邁進する姿は、観光立県の底力を見たようでした。この点については観光立国を目指す足利市としても、積極的に学ぶべきだと感じました。

パネルディスカッション

2日目のパネルディスカッションは島田市の染谷絹代市長、勝山市の山岸正裕市長、まちとひと感動のデザイン研究所の藤田とし子代表、株式会社能作産業観光部の能作千春部長、沖縄県文化芸術振興アドバイザーの平田大一氏をパネラーに迎え、早稲田大学の後藤春彦教授のコーディネートにより進められました。島田市、勝山市が実践してきた実例、藤田氏、能作氏、平田氏がそれぞれ環境や立場は違えど、ひととまちをつないできた実例をお話いただきました。時間の都合でクロストークは少なめでしたが、それぞれのパネラーの言葉で重要だと感じたものをいくつか羅列しておきます。平田氏「文化をおやつではなく主食として考える。本気で本当に文化を大切にしているのか。」「行政がピッチャーで外郭団体や市民がキャッチャー。これからはキャッチャーを育てなければ成功しない。」、後藤教授「デザインとアートの違い。デザインは回答で、アートは問いかけ。両方がバランスよく補完しあえることが重要。」。

特に平田氏は沖縄県が教育委員会の文化、スポーツと観光を一つにした「沖縄県

文化観光スポーツ部」の初代部長で、民間から登用されたはじめての40代部長。舞台演出を手掛けていただけあって、いかに本気で文化、スポーツ、観光振興に取り組んできたかがその話しぶりで容易に伝わってきました。私自身、議会でもこれらの振興を主張してきましたが、更に強く、熱く考え抜いていく必要があると感じました。

研修報告書 (平成 29 年 11 月 10 日 / 沖縄県那覇市)

議員名： 末吉 利啓

研 修 報 告

■沖縄タイムス「沖縄から伝わらない基地問題の現状と課題」

都市問題会議終了後、「沖縄タイムス本社特別研修」をあしかが未来倶楽部用に企画させていただきました。私が琉球大学で学んでいた関係で友人に依頼し、当会派のために沖縄タイムス県政キャップの福元大輔氏にお話をいただきました。テーマは「沖縄から伝わらない基地問題の現状と課題」です。

私自身、沖縄での体験や沖縄の友人たちと話していて、基地問題について「問題の本質や事実が正確に本土に伝わっていない」「間違った情報や沖縄県民が伝えたい情報も伝わっていない」と感じていました。そのあたりを切り口に、様々な情報をご教示いただきました。

今年 10 月に東村に墜落した CH53 の事故、2004 年に沖縄国際大学に墜落した同型機の事故など、米軍のこれまでの事故対応を時系列で見えていくと、13 年経過しても何も変わっていない現実が見えてきました。我が国の領土内で起きた事故に対して主権が許されない（警察や消防による調査等）現実がそこにあり、事故原因が解明される前に訓練が再開されています。もちろん今回の事故のように小野寺防衛大臣が再三の訓練中止や調査を求めても、それが受け入れられていない日米関係については、もっと国民的な議論があってもいいと感じました。「こういった事故や主権の侵害が、今度は本土で起こるかもしれない。」福元氏の言葉からは日本人全員が当事者であることを、あらためて突き付けているように感じました。

次に米軍基地ができていく過程を紐解いていただきました。なぜ、いつ、どのように米軍基地が作られ、拡大し、部分的に返還が進んだのかを見ていくと、いくつかの重要なポイントが見えてきました。ひとつは普天間基地が 1969 年頃の本土の反基地運動により、厚木から移駐したヘリ部隊からはじまったということです。本土の基地負担を沖縄が復帰前に肩代わりした経緯がわかります。また、近代戦において沖縄にある必要性が疑問視されている海兵隊の存在を、アメリカが撤退させようとする度に日本政府が引きとどめてきたこと。そしてそれをテコに思いやり予算ができたことです。（公文書が公開）こういった情報を正確に見ていかないと、基地問題の本質には届かないことが改めてわかりました。

他にも沖縄振興予算が他県の国庫支出金や地方交付税の総額に比べ、群を抜いて多いわけではないこと、観光産業の発展により経済は発展しているが県民一人当たりの所得はまだまだ低いこと、一般的に言われるほど県民総所得に対する基地関連所得が多くない（全体の 5.1%）ことなど、多くのお話しをその論拠や具体例をもって説明いただきました。

さもすると、「栃木の地方議員がなんで沖縄の基地問題を学ぶんだ？」と疑問を持つ方もいるかもしれません。ですが、基地問題も原発問題も廃棄物処分場問題も誰かが、どこかでその負担を受け入れてくれています。その受け入れてくれたところが苦しんでいるのであれば、その問題について利益を享受している国民として一緒に考える必要があると考えます。それをあらためて痛感した研修となりました。

研修報告書

(平成 29 年 1 月 14 日～16 日／橿原市、姫路市 (研究フォーラム))

議員名： 末吉 利啓

研 修 報 告

■全国市議会議長会研究フォーラム

初日は中邨章 (明治大学名誉教授) の基調講演「議会改革の実績と議会力の向上」にはじまり、パネルディスカッション「議会改革をどう進めていくか」が行われました。2 日目は課題討議「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」と題し 4 名の専門家・リーダー達により議論が交わされました。そのなかで印象的だった提言や指摘についてあげておきます。

パネルディスカッションでの金井利之 (東京大学大学院教授) の言葉に、「予算の査定がしっかりできていれば「議員政策条例」はいらない」「予算の決定権 (= 権力) の確保が成り手不足解消につながる」というものがありました。議会が有する予算審査の権限や議決権の大きさをあらためて確認し、更にはそれが議員の成り手不足を解消できる鍵になるという新鮮な指摘でした。

課題討議では参考になる議会改革の事例もうかがえました。盛泰子伊万里市議会前議長「講師を呼んでの勉強会を 2 年で 11 回行い、事務局職員や周辺市議会へも声掛けた。」、豊田正典四日市市議会議長「市議会モニター制度を導入し市民の意見を吸い上げやすいようにした。」など、本市では難しいと考えがちな案件をしっかりと進めている事例を聞き、とても奮い立たせられる思いがしました。

それ以外にも様々な事例やご意見を多角的にうかがうことができました。議会基本条例に則り、議会改革を進め、より身近で信頼される議会を作っていくため更なる努力を進めたいと決意をあらたにすることができました。

■全国市議会議長会研究フォーラム視察

フォーラム終了後、付随する視察に参加しました。コースごとに分かれていて、当会派は C コースに参加し 2 カ所を視察しました。最初は地場産業育成事業についてたつの市の「揖保乃糸資料館そうめんの里」にうかがいました。西播磨の伝統産業である手延べそうめんの PR や観光活用として作られた施設で、体験コーナーも含めその歴史や技術を学ぶことができます。地場産業の振興にはこうした広報施設も有効だと感じました。ただ施設となると維持が課題になりますので、物販や付加価値を付けた体験などで収入を確保することも必要です。

次に訪れたのは佐用町の「SPRING-8・SACLA」です。大型放射光施設の SPRING-8 は放射光で物質の原子・分子レベルでの形や機能を調べられ、X 線自由電子レーザー施設 SACLA は X 線レーザーで部室の極めて速い動きや変化を原子レベルで解明でき

る世界でも最先端の技術が集結しています。一度の視察でこれらの施設を理解することは容易ではありませんが、こうした施設が地元にあることでどのような相乗効果が及ぼされるのか、研究の余地があると感じました。

■ 檜原市『PFI 事業による複合施設整備』について

「PFI 事業による複合施設整備」について檜原市役所総合政策部八木駅周辺整備課の方にお話をうかがいました。檜原市は人口 15 万 5 千人で年間来場者数 300 万人を誇る檜原神宮や、重伝建の今井町がある観光都市です。しかし、宿泊率の低さが課題となっていました。その理由の一つとして宿泊施設の少なさがあげられていました。更には八木駅の前に広大な市有地があり活用が進んでいなかったこと、市役所庁舎が老朽化していたことなどから、その市有地に宿泊施設と庁舎の複合施設整備が提案されました。八木駅南市有地活用事業アドバイザー契約を株式会社長大と結び、需要調査や事業選定や公募など様々な業務支援体制を整えました。そのうえで対話型市場調査を行った結果、宿泊業者からは「宿泊施設を市が整備するなら交渉できる」との回答を受け、市が整備をする方向へ動いていきました。結果的には目的会社として大林組グループと契約をし、ホテル運営はカンデオホテルが担うことになりました。そして 10 階建て（庁舎は 1～4 階）のホテル・庁舎の複合施設が平成 30 年 2 月にオープンしました。

斬新な方法だと感じた半面、現状では議会は紛糾し、市長選も推進派が約 300 票差で勝利したため、市民の間でも意見が割れているようです。その背景には市民への丁寧な説明が不足していたこと、約 100 億円という総事業費の規模のインパクトがあげられるようです。本市でも多くの公共施設更新が迫っています。先行している自治体の事例を参考に慎重かつスピーディーに検討していきたいと感じました。

研修報告書 (平成 30 年 2 月 1 日～2 日/岡山県呉市)

議員名： 末吉 利啓

研 修 報 告

■広島県呉市『医療費適正化に向けた取り組み』について

国民健康保険事業の医療費適正化の取り組みについて、広島県呉市保険年金課の方にご説明いただきました。高齢化による医療費の増加は全国的な問題であります。特に高齢者の多い国民健康保険と地方都市においてはそれが顕著であり、早急な対応が求められています。呉市のH29年度の高齢化率は34%(H27年度全国26.7%)で、国民健康保険加入者の高齢化率はなんと55%です。一人当たりの医療費は461,000円で国の1.32倍、広島県の1.13倍と高水準です。医療費増加と国民健康保険自体の健全運営が大きな課題となっていました。

そこで呉市はレセプト(医療機関が健康保険組合に提出する月ごとの診療報酬明細書)のデータベース化を始めました。そこから課題を抽出し、以下の3つの大きな事業を開始しました。

- ①ジェネリック使用促進
- ②保険事業の推進
- ③レセプト点検の効率化

①ジェネリック使用促進ではジェネリック医薬品を使用していない方に向け、使用促進通知を発行し年間253,127千円(H285年度)の医療費削減を実現しています。ちなみに主な経費は郵送料の年間900千円です。また②の保険事業の推進では糖尿病性腎症等重症化予防事業などを行い、医療費が大きく増加する人工透析患者(※1)を増やさない様々な工夫をしています。糖尿病性腎症のステージに合わせた面談や電話での予防プログラム、生活習慣病放置者フォロー事業などが功を奏し、年間の新規人工透析者がH20年25人からH28年は11人に半減し、一人当たりの医療費も減少傾向に転じたそうです。

その他にも頻回受診者リスト、重複受診者リストの作成し訪問を行ったり、レセプトデータベースのデジタル化による効率化や経費削減などを進めたりしています。

足利市も全国平均よりも高齢化率が高い30%ですので、同じような課題を抱えています。呉市ほど充実した事業を行うためには相応のリソースが必要であると思います。より効果の高い事業を本市に合わせた形で導入できるよう、検討すべきだと考えます。

※1・・・1人当たり年間医療費は約630万円（H28年呉市レセプトデータより）

■広島県呉市『小中一貫教育』について

小中一貫教育の導入について、呉市教育委員会学校管理課の方にご説明いただきました。呉市は平成12年に文部科学省の研究開発学校指定を受け、最終的にはすべての中学校区で小中一貫教育を開始しました。背景には平成10年頃から社会問題化してきた「中一ギャップ」がありました。また、呉市小中学生の学力が県平均よりも低い点も課題として認識されていました。

呉市の小中一貫教育の特徴は以下の4点です。

- ①学習指導要綱に則っている
- ②全ての中学校区で実施
- ③4・3・2区分
- ④各中学校区の特色を生かした取り組み

実際に全ての中学校区で実施をされたのは平成19年からですが、当初多くの市民や学校関係者から疑問や反対意見などがあったそうです。特に全市で行うというというインパクトは相当大きなものだったことが想像されます。

そんななか、何よりも市民や学校関係者の理解を得るために有効だったのは「結果」です。小中学生の学力は導入前に比べ大きく改善し、ともに県平均、国平均を上回りました。また、小学校高学年から大きく低下する自尊心も大きく向上、暴力行為や不登校も減少傾向に転じました。そして「乗り入れ授業」や「異学年交流」、「合同あいさつ運動」など、小中一貫教育ならではの様々な事業も好評で、それを楽しむ子どもたち自身が、小中一貫教育の魅力を伝えるために重要な役割を果たしたように感じました。

こういった結果をより確かなものにするために、学校経営者研修や部会研修を実施、更に研究指定校による小中一貫教育の研究と発表も行っています。

義務教育に関する体制改革は他にも義務教育学校や中高一貫教育などもあります。本市においても中一ギャップ解消、自尊心の向上をはじめとした心の教育強化、学力向上の効果を得るためにも、積極的に調査研究そして議論を進めるべきと再確認しました。